

Internship Daily Reports

英国日常報告

WANG Wanzhu 24B4142102E

DONG Haowen 23B1102103H

英国 ロンドン

インターンシップのイベント一覧

2/21 インターンシップ - IoD (英国経営者協会)	P1
2/21 UCL 学生イベント - パブ	P3
2/22 茶話会 - LBS (ロンドン・ビジネス・スクール) ..	P4
2/24 ロータリー・ロンドン倶楽部昼食会 - The Chesterfield Hotel	P8
2/24 インターンシップ - Royal Lancaster London Hotel .	P10
2/24 トーストマスターズ例会 - Hotel 63	P12
2/25 若者起業フェア - OLD SPITALFIELDS MARKET ..	P14
2/25 ランチ - The Astronomer	P16
2/25 HBBA (ハンガリー・英国経済連携協会) 交流イベント - 10-11 Austin Friar	P18
2/26 インターンシップ - The Flemings Hotel	P20
2/26 インターンシップ - IoD (英国経営者協会)	P22
2/27 インターンシップ - The Anthologist	P25
2/27 タキタス講演会 - Guildhall Yard	P25
2/28 インターンシップ・ミーティング (西川 敦氏・三菱UFJ銀行) - Ropermaker Place	P28
2/28 ファッションデザイナー James Lakeland ミーティング - Marylebone High St Flagship store	P30

3/1 第 20 回日本語スピーチコンテスト -キングス・カレッジ・ ロンドン.....	P33
3/2 東京海上企業セミナー - UCL	P36
3/3 国際女性デー - The Chesterfield Hotel	P42
3/3 インターンシップ - The Flemings Hotel	P45
3/4 インターンシップ - IoD (英国経営者協会)	P46
3/4 女性のキャリア座談会 - SMBC	P50
3/5 盛泰国際とのミーティング - Deploy	P52
3/5 IoD (英国経営者協会) 国際貿易グループ・ネットワーキン グイベント - Oriental Club	P52
3/5 浜口先生の誕生日ディナー - Bone Daddies	P52
3/6 インターンシップ - City Livery Club	P55
3/6 持続可能なスタイルの力、女性が加速する ESG アクション - Bates Wells	P57
3/7 西ロンドンビジネス祭 - Holiday Inn London	P59
3/7 関西会ネットワーキングイベント - The Jack Horner Pub	P59
3/10 ローターリー・ロンドン倶楽部昼食会 - The Chesterfield Hotel	P67
3/10 インターンシップ - The Flemings Hotel	P67
3/10 トーストマスターズ例会 - Hotel 63	P67
3/11 インターンシップ - InterContinental London Hotel ..	P70

3/11 BMS (British Malaysian Society) ミーティング (YB テンク・ザフル氏、マレーシア投資貿易産業大臣) - Handley Page Room	P70
3/12 変革を実現する会議 - イースト・ロンドン大学.....	P73
3/14 インターンシップ - City Livery Club	P80
3/14 ネガポジ対話 - オンライン	P80
3/14 フィッシュ&チップス・ランチ - City Livery Club .	P80
3/17 インターンシップ - National Liberal Club	P87
3/17 アフタヌーンティー - Royal Horseguards Hotel	P87
3/17 PAWA (パンアジア女性協会) 第 15 回年次総会 - Euronext	P91
3/18 ZOOM ミーティング (Dion 氏) - オンライン	P93
3/19 バイリンガル朝食会 (中国語教師向け) - Kensington Wade School	P96
3/19 インターンシップ - Waterstones	P98
3/19 大使との会合 - タイ王国大使館	P98
3/20 ASEAN 市場進出-英国企業の世界・課題・戦略 - Trowers & Hamlins	P101

2/21 金曜日

今日からインターンシップが始まりました。新しい国に来て、交通機関に慣れていないため、私たちは 12:00 の会議に遅れないように、10:30 に出発しました。今日の主な活動は 3 つです。

1. インターンシップ - IoD (英国経営者協会)

まず午前中に IOI でインターンシップが始まり、浜口先生のメンターシップを受けました。その中でいくつか大切なビジネスの経験を学びました。

1) 準備の大切さ：私たちは IOI のウェブサイトを事前に確認しませんでしたので、浜口先生からその点を指摘されました。ビジネスの場では、訪問する会社のウェブサイトをチェックして組織の背景を理解することが重要だと教えられました。このことを通して、準備がとても大切だと実感しました。

2) 自信とコミュニケーション：自分の意見を話すときは、大きい声で、そして自信を持って話すことが大切です。会話のときに積極的な態度で伝えることが大切です。

3) 予測：前もって準備し、起こりうる状況を考えることが大切です。

4) ディテールへの注意：浜口先生から Excel のスケジュールのイベントを追記するよう指示を受けましたが、二人ともスペリングミスをしてしまいました。浜口先生は、ビジネスの場合ではディテール「細かいこと」が大事だと強調されました。自分たちが書いたものを最低でも 5 回確認して、正確さを確認する必要があることを学びました。

5) メールの件名：メールを送る際、件名は分かりやすく、日付や曜日、それにイベント名を含めるべきだと浜口先生は教えてくださいました。これにより、クライアントは内容をすぐに理解できるようになります。

また、Yuka 先輩と Aki 先輩とオンラインで会議をし、インターンシップの準備についてさらに注意点を得ることができました。



2. ランチとチャイナタウン訪問

昼食は、浜口先生と Yuka 先輩と一緒にチャイナタウンに行き、広東料理を食べ、いくつかのスーパーマーケットも訪れました。Wang は、食べ物の味が故郷を思い出させて、とても感動しました。食事中、Yuka 先輩が食べ物を無駄にせずに全部食べきったのを浜口先生がとても良い習慣だと褒められました。また、私たちが写真を撮る際に「ピースサイン」をしたところ、浜口先生がビジネスの場ではこれは適切ではないと教えてくださいました。これにより、日常の小さな習慣でも、状況に応じて気を付けるべきだと学びました。



3. UCL の学生イベントに参加

夕方、浜口先生と Yuka 先輩に連れて行っていただき、UCL の学生イベントに参加しました。これを通じて、イギリスの留学生の日常生活の話を知ることができました。イベントでは、中央大学の Shinsaku 先輩に会いました。彼はとても優しく、私たちにレモネードを買ってくださり、授業でも学生にとっても良く接している方でした。また、UCL の中国人の大学院生にも会い、イギリスでのおすすめの食べ物や観光スポットを教えてくださいました。

まとめ

今後 1 ヶ月のインターンシップでは、私たちは必要な分野で改善を目指し、より慎重に浜口先生の指導を聞き学び、成長していきます。

2/22 土曜日

1.Tea and Talks (茶話会) - LBS (ロンドン・ビジネス・スクール)

私たちは今日、LBS「London Business School」で開催されたイベント「Tea and Talks」に参加しました。このイベントは、日本の女性がネットワークを広げるためのものです。多くの分野で活躍されている女性が集まり、仕事や留学経験や好きな本や映画を共有しました。



私たちの感想

最初は少し緊張しました。しかし、前日に似たような社交イベントを経験したので、自信ができました。Yuka 先輩と浜口先生を待っている間、私たちは周りの学生に話しかけることにしました。イベント中に、スムーズな中国語を話せる日本の外務省のスタッフにも会えました。彼女は優しく、私たちの SNS を追加してくださいました。

このイベントは、本当に「girls help girls」と感じました。多くの女性が自分の分野で成功したり、勇敢に留学を選んだりする姿はとても感動的でした。私たちは彼女たちを本当に尊敬し、この経験により、女性の権利を支援する決意をより強くしました。

Dong の感想

本の推薦のセッション中、私は自分が推薦したい本をまだ読んでいなかったことで、発言しなかったことを後悔しました。しかし、私的な会話では、『働く女性のお金ルール』という本を紹介しました。この本は、女性の金銭意識と資産管理について書かれています。多くの人が興味を示してくれました。

さらに、日本での勉強を通じて、日本社会のジェンダー平等の問題が自分の予想以上に深刻であることに気づき、時には中国よりも深刻です。イベント中、浜口先生が日本社会は強い女性を拒む傾向があると述べたことに深く賛同しました。これが将来、ジェンダー平等を促進したいという気持ちをさらに深めました。

Wang の感想

私は特に浜口先生の言葉に感動を受けました。浜口先生は「自分を受け入れて愛することが人生で最も重要なことの一つである。」と強調され、先生の使命は女性をサポートし、力を与えることだと話されました。浜口先生のような人がいるからこそ、女性の力は成長し続けると信じています。Wang も将来、より多くの女性を助け、女性たちの成長に貢献したいと思いました。

また、浜口先生は、今の社会では正直な意見を言ってもらえる機会が少なくと指摘されました。多くの方は本人に直接言わずに陰で噂話を話します。先生は、正直に建設的批判を提供されるので、それは個人の成長にとってとても貴重です。私は、この段階でこのようなメンターに出会えたことに感謝し、浜口先生の指導の下で成長し続ける決意をしました。

2/23 日曜日 休日

今日は私たちの休みの日です。イギリス国立博物館に行き、中国語のガイドを予約しました。私たちは世界中の展示品をほとんど見ました。ガイドは、イギリス国立博物館には世界一のコレクションがあり、約 800 万点のアイテムがあると言いました。私たちは特にいくつかの国に感銘を受けました。最初に多くの古代エジプトの展示品を見ました。古代エジプトは大きなものを建てるのが得意でした。それから古代ローマと古代ギリシャの展示品を見ました。古代ギリシャの建築の美しさは本当に学ぶ価値があり、多くの建物の構造は今でも使われています。私たちは中国のセクションのコレクションに最も感銘を受けました。いくつかのアイテムは中国にもありません。中国で展示されていないアイテムを見て、私たちは感慨を持ちました。他にも多くの展示品がありましたが、博物館は大きすぎました。私たちは午後いっぱい過ごしてもまだ見終わりませんでした。次回機会があれば、もう一度訪れて学びたいです。





White
Production changed
during the reign
of the Qianlong
emperor (AD 1735-1795).
The styles of these
porcelains were
of Jingdezhen
and many
occurred

Three blue-and-white boxes
Compared with the boxes of the Qing
dynasty, including the boxes of the
Qianlong emperor, the boxes of the
Qianlong emperor were more
likely to be decorated with blue
and white. After grinding for a long
time, it appeared almost like
a transparent blue-and-white glaze.
The boxes of these boxes are all very
valuable. (Jingdezhen, AD 1735-1795)

Dish with eleven boys at play
This dish shows eleven boys playing
in a garden and water in a pond. The
style is typical of the late Qing.
The most important
feature is the eleven boys, who
are all depicted in the garden, with
some of them playing in the pond.
The dish is decorated with the
Qianlong emperor's seal. The
Qianlong emperor's seal is a
square seal with the characters
Qianlong in seal script. The
Qianlong emperor's seal is a
square seal with the characters
Qianlong in seal script. The
Qianlong emperor's seal is a
square seal with the characters
Qianlong in seal script.

Box with eight boys at play
This box is decorated with the scene
of eight boys playing in a garden.
The box is decorated with the
Qianlong emperor's seal. The
Qianlong emperor's seal is a
square seal with the characters
Qianlong in seal script. The
Qianlong emperor's seal is a
square seal with the characters
Qianlong in seal script.

Box with seven boys at play
This box is decorated with the scene
of seven boys playing in a garden.
The box is decorated with the
Qianlong emperor's seal. The
Qianlong emperor's seal is a
square seal with the characters
Qianlong in seal script. The
Qianlong emperor's seal is a
square seal with the characters
Qianlong in seal script.

Box with eight boys at play
This box is decorated with the scene
of eight boys playing in a garden.
The box is decorated with the
Qianlong emperor's seal. The
Qianlong emperor's seal is a
square seal with the characters
Qianlong in seal script. The
Qianlong emperor's seal is a
square seal with the characters
Qianlong in seal script.



Calligraphy scroll
The scroll is a work of calligraphy by
the Qianlong emperor. It features
the characters '平安富貴' (Peace
and Wealth) and a drawing of a
vase with flowers. The scroll is
dated to the 16th year of the
Qianlong reign (AD 1751). The
Qianlong emperor's seal is a
square seal with the characters
Qianlong in seal script.

Porcelain items
The display case contains several
pieces of porcelain. The most
prominent is a large yellow bowl
with a floral design. Other items
include a small bowl, several
plates with various designs, and
a fan with a floral pattern. The
Qianlong emperor's seal is a
square seal with the characters
Qianlong in seal script.

2/24 月曜日

1. ロータリー・ロンドン倶楽部昼食会 - The Chesterfield Hotel

今日は Rotary Club of London が主催する昼食会に参加し、数名の有名人の講演を聞きました。その中で、Stephen Chale 氏の教育に関する講演が最も印象に残りました。彼の話を通じて、青少年教育の本質についてより深く考えるきっかけとなり、社会的責任についても改めて考えさせられました。



Dong の感想

この講演で、あるスピーカーが「話すときは必ず大きくはっきりと」と強調していました。これはとても印象に残りました。なぜなら、成功した人は皆、この点を強調するからです。また、脳科学に関する講演が特に興味深かったです。スピーカーによると、人が時に野獣のように振る舞ったり、特に思春期の若者が自分をコントロールしにくいのは、脳がまだ完全に発達していないためだそうです。そのため、彼は青少年教育をととても重視していました。こうした人々の支えがあるからこそ、私たちはより良い教育と成長の機会を得られるのだと感じ、感謝の気持ちが湧きました。さらに、交流会では面白い会話を耳にしました。司会者が「来週は国際女性の日 (Women's Day) ですが、男性の日 (Men's Day) を作るべきでしょうか？」と提案したとき、隣のテーブルの女性が冗談交じりに「毎日が男性の日よ！」と言いました。この言葉を聞いて、私は前日に感じた「女性の権利のためにもっと努力すべきだ」という考えがさらに強まりました。

Wang の感想

昼のイベントで、「人間はさまざまな関係性の中で生きており、その思考が行動に影響を与える」という言葉が特に印象に残りました。また、講演の中で話すスピードや声の大きさ、明瞭さが表現において非常に重要であることを実感しました。はっきりとした声で適切な速度で話すことで、自分の考えをしっかりと伝えられますし、相手も理解しやすくなります。しかし、このイベントでは少し不快な経験もしました。一時的に気分が落ち込みましたが、後で 浜口先生と話したときに「ビジネスの場では、さまざまな人に出会い、中には不快な経験をすることもある。でも、それも経験の一つで成長しますよ」と言われて、気持ちが軽くなりました。この言葉を聞いて、人生はネガティブな人や状況を避けることではなく、さまざまな人や状況を経験し、そこから学ぶことが大切なのだと気づきました。すべての経験が楽しいわけではありませんが、それらには必ず価値があります。人生は楽しいことだけでできているわけではなく、すべての経験が貴重な財産なのだと改めて思いました。

2. インターンシップ - Royal Lancaster London Hotel

Royal Lancaster London Hotel で、浜口先生からインターンシップ指導を受け、さらに Metta さん「ホテルのマネージャー」ともお会いする機会がありました。Metta さんとの会話を通して、ホテル業界の経験や仕事のキャリアに関する貴重な話を聞くことができ、職場での成長について多くの気づきを得ました。

Dong の感想

このインターンシップでは、浜口先生から多くの経験談や人生の教訓を教えてくださいました。先生の話聞くことができ、本当に感謝しています。今の私に対して最も克服すべき問題は「自信のなさ」です。しかし、浜口先生は「失敗を重ね、経験を積むことで、少しずつ自信がつき、勇気を持って自分を表現できるようになる」と教えてくださいました。今の私に必要なのは、たくさん聞き、たくさん見て、たくさん考えることです。そして、他の人の話をしっかり聞き、深く考えることだと感じました。また、今回の経験を通じて、人脈の重要性を改めて実感しました。浜口先生が広い人脈を持っているのは、能力だけではなく、人との接し方にも深い理由があります。先生は約束を必ず守る人であるため、人々から深い信頼を得ています。また、決して人に無理強いせず、相手の意思を尊重し、誠実な姿勢で長期的な信頼関係を築いています。さらに、先生は「Pay It Forward (受けた優しさを次の人へ伝えていく)」という考え方を大切にしています。自分が助けられたら、将来は他の人を助ける側になりなさいと教えてくださいました。先生はまた、以下のことを強調されています。

- ・どんなに高い地位についても、謙虚でいること。大きな視野を持ちつつ小さなことにも気づく心を持つこと。
- ・人との関わりを恐れず、陰口や悪口を陰で言わないこと。努力は必ず報われる。たとえ金銭的な報酬ではなくても。

最後に、礼儀とは単なるマナーではなく、人間関係を築くための基盤であることも学びました。浜口先生はどんな状況でも礼儀を大切にし、相手の態度に影響を受けず、自分の信念を貫いています。私は、先生のように周囲に左右されず、自分の目標に向かってまっすぐ進む姿勢をとっても尊敬しています。まだまだ未熟な部分は多いですが、私は自分の失敗に向き合う勇気がついてきました。失敗こそが成長の糧になるのだと実感しています。私は「言いたいことを言い、やりたいことをやる」ことを目指します。これは私に **tote** 簡単なことではありませんが、浜口先生の言葉を思い出すと勇気が湧いてきます。

「人生は短い。どんな人も最終的には死ぬのだから、怖がる必要なんてない。」

Wang の感想

驚いたのは、浜口先生と Metta さんが昨日初めて会ったばかりなのに、今日にはすぐに連絡を取り、実際に会うことになったことです。この経験を通じて、「Networking（人脈作り）」の大切さを改めて実感しました。短時間で効率的に人脈を築き、ビジネスの場で信頼を得るスキルは、私が今後学ぶべき重要な能力の一つだと思いました。浜口先生は、ビジネスシーンでの礼儀についても強調されました。特に「courtesy（礼儀）」の細かい部分について教えてくださいました。例えば、私は時々無意識に“うん”や“やー”で返事をしてしまいましたが、フォーマルな場面では、より適切な表現を使うべきだとアドバイスを受けました。英語なら“Yes”、日本語なら“はい”など、細かいことですが、こうした違いがプロフェッショナルな印象を与えるのだと気づきました。また、自信を持つことの大切さについても話していただきました。先生の言葉を聞いて、私は「成長するためには失敗を恐れずに挑戦することが大切だ」と改めて感じました。

3. Toastmaster スピーチ例会 - Hotel 63

これは即興スピーチの能力を向上させることを目的としたイベントです。私たちは多くの優れたスピーカーの話を行いました。彼らの自信があり、落ち着いた、そして人を引きつける表現を通して、スピーチを学ぶことができました。また、表現力を向上させることの大切さにも気づきました。



Dong の感想

このイベントで、私はマレーシア出身の学生 Rohan さんの即興スピーチを聞きました。彼の話し方はとても自然でした。後で知ったのですが、彼は英語の先生で、以前スタンダアップコメディもしていたそうです。これを聞いて、「経験はその人の能力を決める」と改めて実感しました。だからこそ、私は「間違いを恐れない」ことが大事だと強く思いました。成長とは、失敗を重ねながら前に進むことだと思います。

私が一番印象に残ったスピーチは Taninr さんの「The Things We Don't Say」です。彼の話し方はとてもユーモラスでわかりやすく、ボディランゲージの重要性を実感しました。また、TED スピーカーの Hilary Briggs さんのスピーチも聞きました。私の英語力では少し難しかったですが、新しいことを学ぶことができました。特に、彼女が NLP「神経言語プログラミング、Neuro-Linguistic Programming」の考え方について話したのが印象的でした。「人が怠けそうに

なるとき、行動を“つなげる”ことが大切だ」と言っていました。私は今までこの考え方を聞いたことがなかったので、今後ぜひ試してみたいと思います。

Wang の感想

Toastmaster のスピーチ会で、Taninr さんのスピーチがとても印象に残りました。彼はボディランゲージを上手に使い、観客と頻りにアイコンタクトを取り、適度な間（ま）を入れながら話していました。これはスピーチの大切なテクニックだと思いました。私はもっと英語の表現力を上げるために努力しなければいけないと感じました。

最後に、Hilary Briggs さんが言われた言葉が心に響きました。

「あれこれ考えずに、やってみればいい。最初から得意な人はいない。誰でもゼロから少しずつ成長していくものだ。」この言葉を聞いて、私はもっと成長したいなら、まず一步を踏み出さなければいけないと強く思いました。失敗を恐れずに挑戦しなければいけません。

また、浜口先生のようにエネルギーに満ちた人と接して、私も努力し続ければ、いつか先生のようになれると信じています。

2/25 火曜日

1. 若者起業フェア - OLD SPITALFIELDS MARKET

今日は若い起業家のイベントに参加しました。多くの高校生が学校の推薦でチームを作り、商品企画、ブースデザイン、経営プランをすべて自分たちで考えていました。彼らは熱心に商品を売り込み、それぞれのチームが創造力と活気にあふれていました。



Dong の感想

高校生の売り方を見て、販売方法が売上に大きな影響を与えることに気づきました。熱意を持って売り込むと、多くのお客さんを引きつけることができます。さらに、ユーモアを加えると、もっとお客さんが買いたくなります。そして、割引があれば、多くの人がすぐに購入を決めます。

また、一部の学生はお客さんが買わなくても積極的にアピールをしていました。ある女子生徒は浜口先生に直接商品を売り込んでいて、自信と勇気がすごいと思いました。チームごとに面白いアイデアがあり、とても印象に残るイベントでした。この活動を通じて、マーケティング戦略と起業精神を実際に学ぶことができました。

Wang の感想

最初のイベントでは、イギリスの高校生がどのように自分のアイデアを使って商品売るのかを見ることができました。彼らの創造力とビジネスの柔軟な考え方がとても勉強になりました。



2. ランチ - The Astronomer

昼食の時間に、企画チームと一緒にランチをしました。レストラン「Astronomer」でオニオンリングとフライドポテトを食べました。Shinsaku 先輩がおごってくださいって、とても感謝しています。

また、彼らの企画について話を聞きました。彼らは若い起業家を応援していて、特に Lars Andersen さんはすごく優しく私たちに話してくださいました。彼は私たちの話をしっかり聞き、英語のミスをすぐに指摘してくださいって、すごく優しい方だと感じました。ある成功したビジネスマンが「リスクを取ることに。ビジネスは未来を予測することだ」と話されていたのが印象に残りました。



Dong の感想

Lars Andersen さんに「循環 (circulation)」という考え方を教えていただきました。例えば、自動車業界では昔はトヨタがトップでしたが、今はBYD (Build Your Dreams: 中国自動車企業) も市場で大きな影響力を持っています。また、歴史的に見ても、昔は中国が強く、その後イギリスが発展し、今は再び中国が世界経済の重要な存在になっています。すべてのものは変化するので、一時の成功や失敗で一喜一憂しないことが大切だと言われました。

さらに、彼は会社で採用するときにも最も重視するのは「知性 (intelligence)」と「態度 (attitude)」だと教えていただきました。「知性があるって、頭が良く、学ぶ姿勢があれば、何でもできる」とのことです。この話を聞いて、昨日の Toastmasters のスピーチで Rohan さんが流暢に話していたことを思い出しました。私は「学歴や経験が能力を決める」と思っていたのですが、今日の話聞いて考えが少し変わりました。学歴や経験よりも、学ぶ姿勢と知性が大事なのだと気づきました。

Wang の感想

ランチの時、私は Lars Andersen さんと同じテーブルでした。彼は「知性 (intelligence)」と「態度 (attitude)」が大事で、「経験が一番重要ではない」と話してくださいました。この考え方にとても驚きました。これまで私は、経験がないと良い仕事ができないと思っていましたが、本当に大切なのは能力と姿勢だと気づきました。

また、浜口先生も「思考 (mindset)」と「態度 (attitude)」を大事にしていると聞きました。私は、これから学業や仕事でできるだけ多くのことに挑戦しようと思いました。経験がないからといって怖がるのではなく、積極的に行動しようと思えました。

3. HBBA（ハンガリー・英国経済連携協会）交流イベント：「Where Design Meets Digital Performance」 - 10-11 Austin Friar

夜、HBBA が主催した Where Design Meets Digital Performance というビジネスソーシャルイベントに参加しました。これはネットワーキングを目的としたビジネス社交イベントです。



Dong の感想

このイベントで、浜口先生は私たちに「積極的に社交するように」と言われました。最初はとても緊張しましたが、一歩踏み出すと、少しずつ慣れていきました。まず、インドの留学生と話し、励ましてもらいました。それから、前にあった浜口先生のチームメンバーを見つけ、彼女とビジネスマンの会話に加わりました。話しているうちに、社交を楽しめるようになり、自然にグループに溶け込めるようになりました。観察し、学びながら、楽しく交流できました。

その場であるスピーカーが言った「何かを得たいなら、まず与えることを学ぶべきだ」という言葉が印象に残りました。

ただ、昼に食べた生のサーモンが原因でお腹が痛くなり、途中で帰ることになりました。とても残念でした。これからは寒い日に冷たい刺身を食べるのはやめようと思いました。

Wang の感想

私は「恐怖は知らないことから生まれる」という言葉の意味を深く理解しました。今日は、浜口先生に「他人に頼らず、自分で話しかけて自己紹介をするように」と言われました。最初はとても不安で、どうやって話しかければいいのかわかりませんでした。でも、一歩踏み出してみると、ネットワーキングは思ったほど難しくないと感じました。

私が怖がっていたのは、ネットワーキングそのものではなく、自分の英語力の自信のなさでした。うまく話せなかったら笑われるのではないかと心配していました。でも、実際に話してみると、相手は私の英語が完璧でなくても気にせず、優しく対応してくれました。この経験から、語学力を上げるには「勇気を持って話すこと」と「練習を続けること」が大事だとわかりました。間違いを恐れずに、もっと積極的に世界を広げていこうと思いました。

2/26 水曜日

1. インターンシップ - The Flemings Hotel

午前中、私たちは The Flemings Hotel でインターンシップをしました。浜口先生は私たちの日本語レポートの間違いを直してくださいました。また、浜口先生のビジネスパートナーも忙しい中、私たちと会ってくださって、約 10 分間話をしました。



Dong の感想

レポートを修正する時、私たちは浜口先生の考えを誤解していたことに気づきました。もともと「浜口先生は人生で一番大切なのは自信を持つことだと言われた」と書きましたが、浜口先生に「本当に大切なのは、本来の自分を受け入れて愛すること」だと訂正していただきました。この言葉にとっても感動しました。

また、浜口先生は「優秀な人と話すとき、その人の言葉を書き留めるのは、相手への尊敬を表す方法の一つ」だと言われました。でも、私は「メモを取るのには失礼ではないか」と心配して、あまりやっていませんでした。そのせいで、大事なことを聞き逃してしまうことも多々ありました。これからは、もっと積極的にメモを取りたいと思います。

Wang の感想

午前中、私は浜口先生に「ビジネスの場面で名刺をもらったら、自分も名刺を渡すべきか」と質問しました。浜口先生の答えはとても考えさせられるものでした。先生は、「これからは、相手が本当に関係を作りたいと思っているかを見極めることが大切。皆さんに対して名刺を渡すのではなく、自分が大事だと思う人に渡すことを考えてみてほしい」と言われました。私は、この言葉を聞いて、自分で判断する力をつけることの大切さを感じました。

2. インターンシップ - IoD (英国経営者協会)

午前のインターンシップが終わった後、私たちはホテルの近くでランチを食べました。しかし、時間の余裕を持って計画をしなかったため、本来 13:10 に IOD に集合する予定でしたが、10 分遅刻してしまいました。その後、浜口先生は 13:30 に重要な会議があったので、私たちの遅刻が先生にご迷惑をかけてしまいました。午後は、私たちは先生のアシスタントを担当し、先生の以前のインターン生である Hikaru 先輩にも指導していただきました。

Dong の感想

午後の会話の中で、私は午前中先生が言われた「心に響いたことをメモしなさい」という言葉を思い出しました。Hikaru 先輩と話して、私たちは似ているところがあると共感しました。私も自立心が強く、何でも自分でやりたいタイプで、人に頼るのが苦手です。しかし、そうすると、自分の状況を周りに伝えないうままになり、気づいたら人間関係が途切れてしまうことがあります。この話を聞いて、私は長期的な人間関係を築くのが苦手だと改めて感じました。浜口先生は「電話をかけることを怖がらずに、自分の状況をちゃんと報告することが大切」と言われました。人間関係では、お互いに頼ったり、助け合ったりすることも大事なことです。

また、私は考えすぎることが多いですが、浜口先生は「何かを完璧にしようと思えば、逆に失敗しやすくなる」と言われました。人との関係も同じで、失敗を恐れすぎると、何も始められません。また、先生は「potato

ストーリー」という考え方を教えてくださいました。それは、ひとつのじゃがいもの皮は汚れていますが、他のじゃがいもと一緒に擦れると、皮がだんだんきれいになります。人も同じで、ずっと一人だと、気持ちや心は変わりにくいです。

また、浜口先生は「人生で大切な三つの幸福物質」について話してくださいました。

- ・セロトニン「Serotonin」：気持ちを安定させ、リラックスさせるホルモン
- ・オキシトシン「Oxytocin」：人との信頼関係や親密さを深めるホルモン
- ・ドーパミン「Dopamine」：興奮や緊張を生むホルモン、挑戦や危機のときに働く

浜口先生は「最終的にはセロトニンがもたらす平和と満足感を大切」と言われました。そのために、日々の小さな幸せを大切にすることが重要です。例えば、朝カーテンを開けて日光を浴びることや、「今日も新しい一日が始ま

った」と感謝することが、その積み重ねになります。今回の話を通して、私は「どうやって人間関係の中で健康的なコミュニケーションを築くか、そして、どのように交流を通して本当の幸せとバランスを見つけるか」を深く考えさせられました。

Wang の感想

午前のインターンシップが終わった後、私たちは浜口先生と 13:10 に IOD で会う約束をしました。私たちは昼食に約 1 時間使えると思っていましたが、レストランの料理が出てくるのが遅く、結局 10 分遅刻してしまいました。浜口先生は、私たちの選択が間違っていたと言われました。こういう状況では、レストランでゆっくり食べるのではなく、簡単に食べられるものを選んで、時間通りに到着することが大切だったのです。この経験から、これからは「時間・場所・場面 (TPO)」を考えて、食事の選択をする必要があると学びました。

午後、私たちは 浜口先生のインターン生だった Hikaru 先輩にご指導をいただきました。Hikaru 先輩は「自分一人で何でもやろうとしすぎてしまい、しばらく浜口先生と連絡を取らなかったことがあった」と言われました。しかし、先生は「こういうときこそ、連絡することが大事だ」と言われました。この話を聞いて、私はとても共感しました。私も気分が落ち込んでいるときは、人と話すのを避けてしまうことがあります。でも、それは「自分の本当の気持ちを受け入れられていない」からだと感じました。実際には、少しでも人と話して気持ちを共有すると、悩みは軽くなることが多いです。

また、浜口先生は「感情を調整する方法」について話してくださいました。例えば、毎朝カーテンを開けて、朝日を浴びることや、「今日も新しい一日が始まった」と感謝すること。また、散歩をしたり、人と話したりすることも気分を変えるのに役立ちます。この話を聞いて、私は日本に来たばかりの頃のことを思い出しました。そのとき、私は日本語がうまくできず、いくつもの学校に落ちました。その現実を受け入れられず、気持ちを紛らわせるために、食べることでストレスを発散していました。本当はお腹がいっぱいなのに、無意識に食べ続けることがありました。今考えると、それは「自分を愛していなかった」からだと思います。しかし、私は少しずつ変わろうとしました。もともと運動が嫌いで、料理もできませんでしたが、散歩を始め、料理にも挑戦しました。毎日自分でご飯を作るうちに、食べることの大切さを実感しました。そして、日本での留学生活の中で、料理をすることが習慣になりました。それは料理を作ることを学ぶだけではなく、自分の生活を大切にすることにつながりました。

今でも、ときどき気分が落ち込んだときに食べすぎてしまうこともあります。でも、もうそれを「悪いこと」だとは思いません。大切なのは、「そのままの自分を受け入れること」。たとえ完璧でなくても、失敗しても、それでも自分を大切にすることが重要なのだと、浜口先生の話聞いて改めて感じました。



2/27 木曜日

1. インターンシップ - The Anthologist & タキタス講演会 - Guildhall Yard

今日の午後、浜口先生とともにインターンシップ活動を行いました。その後、浜口先生の友人たちとお会いし、Tacitus Lecture at Guildhall (講演会)に参加しました。講演会の後には、ネットワーキングイベントも行われました。



Dong の感想

今回のインターンシップ活動では、浜口先生から主催者として重要な心得を学びました。先生は、「常に状況を観察し、最適な解決策を見つけると同時に、最悪の事態にも備えることが大切だ」と強調されました。また、先生の英語力向上の秘訣についても話してくださいました。それは、「相手の立場に立って考えること」です。話す前には、相手が理解できるかを考え、書く際には、読み手に対して分かりやすい表現になっているかを意識することが大切だと教えてくださいました。さらに、スピーチをたくさん聞くことが表現力向上につながることもアドバイスをいただきました。

Tacitus Lecture at Guildhall (講演会)では、スピーカーが「よりグローバルであることが重要」だと述べ、貿易が人々をより密接に結びつける役割を果たしていると強調していました。また、以下のようなポイントについても話されました。

- ・未来を予測する力を持つこと
- ・ただ単に「親切」であることをやめること

講演後のネットワーキングイベントでは、積極的に人と交流することを意識しました。最終的に、勇気を出して Mr. Lars に声をかけ、一緒に写真を撮ることができました。この経験を通じて、自分が少しずつでも確実に成長していることを実感しました。

Wang の感想

今日の午前中、「Preparation is everything (準備がすべて)」という言葉の重要性を改めて実感しました。インターンシップ活動の際、私はノートを持参せず、友人から紙を借りてメモを取ることになってしまいました。実は、前日に先生から「ノートを準備しておくといい」と言われていたのですが、それを忘れてしまっていました。

また、何事も自分の視点だけで考えるのではなく、もっと広い視野を持つことの大切さも学びました。相手の立場に立ち、どうすれば相手にとって便利かを考えることが重要だと感じました。今日、浜口先生は夜にさらに重要なイベントがあったため、私たちと一緒に参加することはできませんでしたが、浜口先生の友人がネットワーキングイベントでずっと私たちに気にかけてくださいました。その優しさにとっても感動しました。



2/28 金曜日

1. インターンシップ・ミーティング（西川 敦氏・三菱 UFJ 銀行） -
Ropermaker Place

お昼に、三菱銀行の欧州法人営業部長の西川様とお会いいたしました。ご多忙の中、貴重なお時間を割いてくださり、私どもの質問にご丁寧にお答えい
ただきました。



Dong の感想

午前中、西川さんに「人の成長」について伺いました。回答は非常に勉強になり、感銘を受けました。西川様は人事部での経験があり、「成長が早い人と遅い人の違い」について意見をいただきました。その際、西川さんは「成長のスピードよりも、目標を持っているかどうかの方が大事だ」と言われました。また、成長が早い方々の特徴を三つを教えてくださいました。

1. 挑戦する気持ちが強い（高い目標を持っている）
2. 視野が広い（大きな視点で考える）
3. リスクを取ることができる（挑戦を恐れない）

さらに、採用において何を重視されるか伺いました。西川さんは「頭の良さよりも、情熱と挑戦する気持ちが大事だ」と言われました。また、「実際の経験」が重要であり、行動力がある方を評価されるともお話しされました。西川さんは「100を達成するには300の努力が必要だ」とも言われました。この考えには、私は非常に感銘を受けました。「目標が100なら、努力は300必要」という言葉を聞いて、私もさらに努力しようと決心しました。

Wang の感想

午前中、浜口先生のご紹介で、西川さんと話せる機会をいただきました。西川様は昼食を取る時間もない中、すぐに私たちにお時間を割いてくださいました。心より感謝申し上げます。私は、キャリアについて伺いました。そして、**mental healing**（心の癒し）に興味があり、人を助けたいと思っていることを伝えました。それに対して、西川さんはこう言われました。「人を助けたいだけでなく、この分野の専門家になれるように努力しなければいけない。」この言葉を聞いて、私は考えさせられました。

どうやって人を助けることができるか？

誰を助けたいのか？

どこまで頑張ることができるのか？

この話を通して、キャリアを真剣に考え直しました。何かを達成するためには、情熱だけではなく、目標と努力が必要だと気づきました。また、西川さんは「目標を100にするなら、300の努力をする」という信念をお持ちです。この言葉を聞いて、私ももっと頑張ろうと思いました。午後、私たちは西川さんにお礼のメールをお送りしました。すると、わずか10分で返信が来て、温かいお言葉をいただきました。本当に感動しました。

2. ファッションデザイナー James Lakeland ミーティング - Marylebone High St Flagship store

午後は、浜口先生がよくいらっしゃるスポーツクラブのラウンジで実習しました。ビジネスメールの書き方を学びました。

夜は、デザイナーの James Lakeland さんに会い、彼のブランドのお店で高級ファッションを見学しました。また、中国人の女性のお医者さんと話しました。お医者さんの人生経験の話や、ロンドンのファッションショーで中国の伝統服（漢服、結婚式の服、唐装ジャケット、チャイナドレス）を紹介した話を聞きました。



Dong の感想

午後は、メールの書き方を学びました。でも、私はうまく自分の考えを伝えることができませんでした。そのため、これから日本語と英語の表現力をもっと伸ばしたいと思いました。また、スピーチを聞いて、論理的に話す練習をしようと思います。

夜、高級ブランドの服を見ました。とてもきれいでしたが、私は「値段が高すぎる」と思いました。「ファッションは高ければ高いほど、ステータスが上がるのか？」と考えました。私はファッションにあまり興味がないですが、高級な服を見て「こんなに高い服を買う意味は何だろう？」と思いました。

でも、今日一番の収穫は、ファッションではなく、中国人女性のお医者さんの話でした。彼女はアメリカで唯一の中国人学生でした。そして、今はイギリスで有名な医者になりました。彼女のキャリアは、とても大変でした。でも、努力して成功しました。彼女は「リーダーになるには、常に学び続けることが大切」と言われました。また、中国の伝統文化を世界に伝えたいという思いを抱いており、実際にロンドンのファッションショーで中国の伝統服を紹介されました。さらに、国際的な教育にも関わっており、イギリスで生まれた中国人の子どもたちが文化の違いで悩むことが多いと話されていました。親と子どもとの間の橋渡しをし、子どもたちが文化のバランスを取れるようサポートしているとのことでした。彼女の話聞いて、「成功するには努力が必要だ」と改めて感じました。また、「自分の文化を大切にしながら、世界とつながることも大事だ」と再認識しました。

Wang の感想

夜、素敵な青いセーターを見つけました。でも、高かったので試着しませんでした。私は、服に高いお金を使うことはもったいないと思うことがよくあります。でも、デザイナーの James Lakeland さんが言った言葉を聞いて、考えが変わりました。「女性は、どんな時も美しくあるべき。ファッションを楽しむことが大切。」これを聞いて、私は「服を買うことは、ただの出費ではなく、幸せを感じることも大事だ」と思いました。

また、中国人の女性のお医者さんの話もとても面白かったです。彼女は「ファッションは繰り返す」と言われました。例えば、昔、中国で漢服やチャイナドレスは人気でした。でも、一度消え、今また若者の間で流行しています。この話を聞いて、ファッションの価値について新しい考えを持ちました。人生を楽しむことは、無駄ではなく、大切なことだと気づきました。



3/1 土曜日

1. 第20回日本語スピーチコンテスト -キングス・カレッジ・ロンドン

今日は Japanese Speech Contest (日本語スピーチ大会)に参加して、たくさんの大学生のスピーチを聞きました。みんな自信を持って話していて、とても勉強になりました。



Dong の感想

朝、武石先生からメールの返信をいただきました。本当に感動しました。先生はとても忙しいのに、私たちの **daily report** をしっかり読んでくださいました。本当に感謝しています。自分の努力が認められたように感じて、先生の優しさも伝わってきました。ずっと応援してくださる先生がいるので、もっと頑張りたいと思いました。FLP プログラムに参加できて、本当にうれしいです。そして、このチャンスをくださった浜口先生にも感謝しています。浜口先生のおかげで、たくさんの優しさや、目上の方からのサポートや励ましを感じることができました。

今日は、たくさんの外国人の日本語スピーチを聞きました。みんなの日本語がとても上手で、本当にすごいと思いました。特に、二つの中国人グループの発表がとてもおもしろかったです。一つのグループは漫才のスタイルで上海を紹介し、もう一つのグループは中国の麻雀を紹介しました。どちらもとても楽しかったです。スピーチの後の交流会では、麻雀のグループと話して、連絡先を交換しました。彼らは日本語を勉強してまだ2年半くらいですが、この発表のために2~3 か月準備したそうです。本当にすごいと思いました。そして、チームワークの大切さや、仲間との信頼関係の大事さを改めて感じました。

Wang の感想

午前中に武石先生からのメールをいただきました。先生の言葉にとっても励まされ、やる気が出ました。

午後のスピーチ大会では、「言葉は世界をつなぐことができる」と強く感じました。国や文化は違っても、日本語を通してみんなで交流し、一緒に成長することができると思いました。

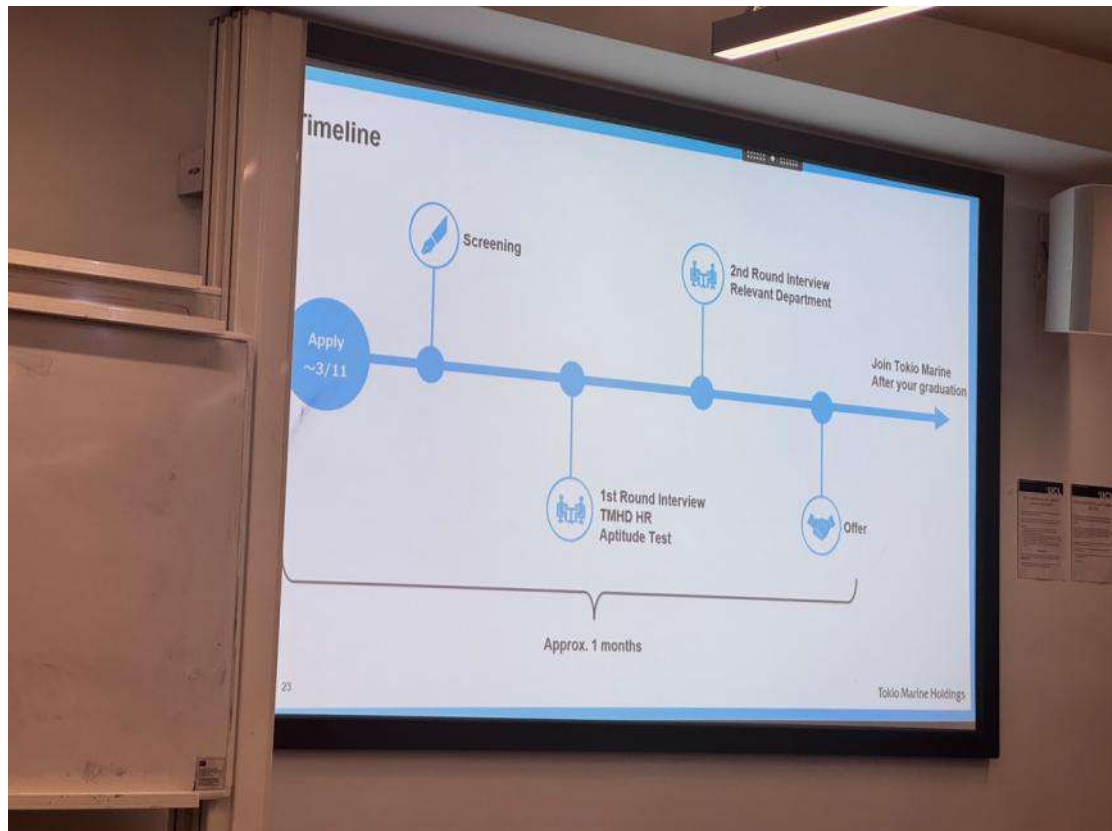
特に、最初の発表者のスピーチが印象に残っています。彼女の考えにとっても共感しました。「世代の違いが原因でギャップが生まれるのではなく、コミュニケーションが足りないことが原因だ」と言っていました。私も、時々年上の人と意見が合わないことがあります。でも、今日のスピーチを聞いて、自分から積極的に話し、考えを伝えることが大切だと気づきました。また、中国のグループの麻雀のスピーチも、とても印象に残りました。コンテストの後半で少し疲れていましたが、彼らの力強いスピーチと自信のある話し方を聞いて、すぐに引き込まれました。情熱とエネルギーを感じる発表でした。今日のスピーチ大会は、とても刺激になりました。私もいつか、日本語のスピーチ大会に出たいと思いました。もっと日本語を勉強して、今日の経験を力にして、自分に挑戦したいです！



3/2 日曜日 休日

1. 東京海上企業セミナー - UCL

午前中、私たちはTokio Marineの企業セミナーに参加しました。説明会では、現在募集している職種や会社の歴史について紹介がありました。イベントの最後には、Tokio Marineが参加者全員に「Wasabi」のお弁当を用意してくれました。



Dong の感想

今日は初めて企業説明会に参加しました。とても新鮮で、流れをじっくり観察しました。最初に保険の説明があり、その後、会社紹介や企業理念の話がありました。最後は質問コーナーで、みんな採用条件などを聞いていました。グローバルな企業なので、多文化に適応できる人材を求めているそうです。今回の説明会で、就活の雰囲気は少しわかりました。次からは、事前に質問を準備して参加しようと思います。

Wang の感想

今日のセミナーで、前に知り合った UCL の中国人留学生にまた会いました。今回のイベントで初めて Tokyo Marine がこんなに大きな保険会社だと知り、優秀な学生がたくさん参加しているのを見て、就職活動の競争の厳しさを感じました。ただ、保険業界にはあまり興味がないので、会社自体の魅力はあまり感じませんでした。しかし、一番驚いたのは Tokyo Marine が参加者全員に昼食を用意してくれたことです！私はロンドンに来てから初めてライスを食べたので、とても感動して、最後まで全部食べ切りました。



2. ロンドン観光：ビッグ・ベン & ロンドン・アイ

今日は休日なので、午後のセミナーの後、ビッグ・ベンとロンドン・アイを見に行きました。どちらもとても美しく、イギリスの街を歩きながら、この国の独特な魅力を感じました。たくさん写真を撮り、楽しい思い出を残しました。





Dong の感想

午後、ロンドンを歩いていると、だんだん寒くなっていると感じました。橋の上で写真を撮っていたら、おばさんが「一緒に写真を撮ろう」と声をかけてきました。でも、撮った後にお金を請求されて、びっくりしました。なんだか心までもっと寒くなりました。あの時の笑顔はその写真の中だけに残りました。これからは、よくわからない親切を簡単に信じないようにしようと思います。でも、夜にロンドン・アイに乗ったとき、ちょうど夕日が見られて、とてもきれいでした。そのあと、おいしいロブスターを食べて、また笑顔が戻ってきました。

Wang の感想

実は、今日はもう一つ嫌なことがありました。写真を撮っていたとき、女王の衣装を着た女性が近づいてきて、「一緒に写真を撮ろう」と言いました。私はディズニーのプリンセスに会えたような気分で、とても嬉しかったです。でも、写真を撮った後、その人はお金を要求してきて、結局5ポンド払うことになりました。イギリスに来て初めて騙された気がして、悲しかったです。



3/3 月曜日

1. INTERNATIONAL WOMEN' S DAY - The Chesterfield Hotel

今日のイベントが始まる前に、浜口先生が私たちの昨日のインターンシップレポートを見て、私たちが騙されたことにお知りになりました。そして、日本のことわざ「ネギをしょったカモ」を教えてくださいました。先生は、「実際に経験しなければ分からないこともある。例えば、騙されることも人生の一つの経験だ」と話されました。

今日は国際女性の日（International Women' s Day）で、私たちはこの素晴らしいイベントに参加し、多くの優れた方々のスピーチを聞くことができました。さらに、浜口先生が私たちをゲストの方々を紹介してくださり、とてもありがたいと思いました。



Dong の感想

今朝、浜口先生に会ったとき、先生は私たちのことを「ネギをしょったカモ」だと言われました。これは「カモ（騙されやすい人）」という意味で、とても面白い表現だと思いました。今回の経験は、いい勉強になりました。昼の RCL (Rotary Club of London) のイベントでは、隣に座っていた目上の女性と話したかったのですが、どう話しかければいいか分かりませんでした。浜口先生はとても親切に話しますが、私が同じようにすると、年上の方に対して失礼になるかもしれないと思い、難しく感じました。

今日のスピーカーは 4 人の素晴らしい女性でした。その中で、「女性の交通事故死亡率は男性より高い」という話が特に印象に残りました。その理由は、車の安全基準が男性の体に合わせて設計されているからです。また、政策の多くも男性が決めており、ファッション業界でも、女性の服はデザインが重視され、男性の服ほど快適ではないことが多いそうです。これを聞いて、私の国でも同じようなことがあったと思いました。性別の平等は、小さい頃からの教育が大切だと感じました。

Wang の感想

今日の International Women's Day (国際女性の日) のイベントでは、4 人の素晴らしい女性のスピーチを聞くことができました。彼女たちは皆、女性の成長と性別平等を推進するために活動していました。その中で、特に印象に残った言葉は「**When women do better, the economy does better.** (女性が活躍すれば、経済も成長する)」でした。女性がより良い教育を受け、経済的なチャンスを得ることで、家庭の収入が増え、子供の教育環境も良くなり、社会全体の経済発展につながると感じました。そのため、女性が仕事の機会を得て、リーダーとして活躍できる環境を作ることが、今の社会の重要な課題だと思います。将来、私も女性の成長を支援するような仕事に関わりたいです。

また、浜口先生は「人脈を作ることの大切さ」を話してくださいました。最初は緊張して話しかけづらいかもしれませんが、勇気を出して一步を踏み出すことが大事だそうです。先生ご自身も、ゼロから人脈を築いたと話してくださいまして、とても尊敬しました。今後のネットワーキングの場では、私ももっと勇気を持って積極的に行動しようと思いました。



2. インターンシップ - The Flemings Hotel

今日の午後は、ホテルで以前の仕事のメール対応をしました。

Dong の感想

インターンシップの中で、浜口先生は「待っているだけではなく、自分の価値を積極的にアピールすることが大切」だと話していただきました。この言葉を聞いて、ただ考えるだけではなく、実際に行動しなければ意味がないと気付きました。自分の価値を他人に伝えるには、しっかり表現することが大事だと思いました。

また、先生の「**Courage is born from failure.** (勇気は失敗から生まれる)」という言葉も印象的でした。私はいつも間違えることが怖くて、なかなか自分の気持ちを伝えられませんでした。特に、感謝の気持ちを持っていても、どう表現すればいいか分からず、心の中に留めてしまうことが多かったです。でも、もし勇気が失敗から生まれるのなら、恐れずに挑戦し、間違いから学んでいこうと思いました。

Wang の感想

今日のインターンシップでは、浜口先生が「私のことを **potential business partner** (将来のビジネスパートナー) として接するべきだ」と言われました。つまり、先生が私たちに活動やタスクを与えるのを待つだけではいけません。自分から積極的にアピールすることが大切なのだ学びました。また、常に **open heart** (オープンな心) を持つことも大事だと教えていただきました。

さらに、先生に「感謝の気持ちを持つことがとても大切」だとも話していただきました。この言葉を聞いて、とても共感しました。他人のサポートを当たり前だと思わず、まずは自分が相手に何かを与えることが大切なのだ気付きました。そうすることで、相手ももっと助けてくれるし、良い関係を築くことができるのだと思いました。私は、これからの人生の中で「感謝」を大切にし、助けてもらったことを次の人を助けていく (**pay it forward**) ことを意識していきたいです。自分も、誰かにとって温かい存在になれるように頑張りたいと思いました。

3/4 火曜日

1. インターンシップ - IoD (英国経営者協会)

今日はIODでインターンシップをしました。明日のイベントのために資料を調べ、質問を準備しました。その途中、とても素晴らしくエネルギッシュな女性、Dionさんにお会いしました。彼女の言葉はとても力強く、私たちを励ましてくださいました。

午後は、浜口先生のチームメンバーLouiseさんとLonさんとを話しました。彼女たちは自分の経験を共有してくださって、とても勉強になりました。





Dong の感想

午前中、浜口先生が「ビジネスの場ではフォローアップが大事」と言われました。午後、LouiseさんとLonさんも「絶対に諦めずに進み続けることが大切」と言われました。疲れたときや落ち込んだときは、自分が今「低エネルギー」なのか「高エネルギー」なのかを考えるとされました。また、先生は「ビジネスの場では、注目を集めようとするよりも、相手に注目することが大切」と言われました。そして、自分を過小評価してはいけないとも教えていただきました。

Wang の感想

午前中、浜口先生の紹介で、Dion Johnsonさんと話す機会がありました。彼女は自分の人生の話をしてくださり、私たちは「時々自信がなくなる」と相談しました。すると、彼女は「自信は自分の選択から生まれる」と教えていただきました。「自分がどういう人間になりたいのかを決め、そのために努力すればいい」と言われ、とても勇気をいただきました。私は彼女の考えにとっても共感しました。私は言葉の力を信じています。例えば、日本の作家江本勝（Masaru Emoto）の本『水は答えを知っている』では、ポジティブな言葉とネガティブな言葉が水に与える影響について書かれています。この本を読んで、言葉の大切さを実感しました。Dionさんの話を聞いたとき、彼女の言葉がとても力強く、彼女自身も自信に満ちていました。その姿に感動し、思わず涙が出ました。こんな素晴らしい女性に出会えたことを、本当に幸運だと思います。

午後は、LouiseさんとLonさんと再びお話しできました。彼女たちはとても親切で、ランチの時間を使って私たちと話してくださいました。彼女たちはエネルギーの高い女性で、私も自然と自分のことをたくさん話したくなりました。私たちは、中国、日本、ロンドンでの生活について話し、お互いの考えから多くのことを学びました。

Lonさんは「何をするにもバランスを取ることが大事」と言われました。例えば、「自由に自己表現できる環境では、ルールが少なく管理が行き届かないため、安全面や衛生面に問題が生じることがある。一方で、厳しく管理された安全で清潔な環境では、行動や表現が制限されることもある。」と話してくださいました。私はこの考えにとっても共感しました。

Louiseさんは、「完璧なものはないし、完璧な人間もない」と言われました。そして、「どうすればいいかわからなくなったときは、まず自分の弱さを受け入れること。そして、自分を許し、自分自身を楽しませ、幸せにすることが大切」と教えていただきました。この言葉にとっても感動しました。

その後、浜口先生も自分の話をしてくださいました。先生は「エネルギーの高い人同士は自然と引き寄せられる」と言われました。私はこの言葉を聞いて、ちょうど1年前のことを思い出しました。あの頃、私はとても落ち込んでいて、「自分を成長させてくれるメンターがほしい」と願っていました。そして、その願いは叶い、今こうして浜口先生のインターン生になり、素晴らしい人たちに出会えたのです。本当に夢が叶った気がして、このチャンスに感謝しています。

2. 女性のキャリア座談会 - SMBC

夜は、SMBC 主催の座談会「Women in Work: What Can Companies Do to Level the Playing Field」に参加しました。4人のスピーカーが、女性の働き方に関する問題について話しました。

夜のレセプションでは、Dion さんにまた会うことができました。彼女は再び自分の経験を話し、私たちに励ましてくださいました。



Dong の感想

レセプションで、Dion さんは「環境を変えることはできないけど、何が自分にとってプラスになるかを考えることが大切」と言われました。彼女はさらに、「私たちは生まれながらにして使命を持っている。だから、自分が何者なのかを決めるのは自分」とも言われました。そして、「考えることをやめてはいけない」とご指導くださいました。

また、「自分の考えや望むことを、はっきりと言葉にするべき」とも教えてくださいました。これを聞いて、言語を学ぶもう一つの意味は、「自分の考えを大きな声で伝えること」だと気づきました。

Wang の感想

正直に言うと、夜のイベントには少しがっかりしました。ディスカッションの内容があまり心に響かず、会場の人たちも眠そうでした。でも、一番の収穫は、もう一度 Dion さんと話せたことでした。Dion さんは、「人には強い力がある。時には勇気を出して、自分の考えを発言すべきだ。他人の目を気にする必要はない」と言われました。

東アジアの文化では、私たちは子どもの頃から「おとなしくすること」「目立たないこと」を教えられます。特に女性は、公の場で意見を言うのをためらいがちです。私も昔は自信がないタイプでした。でも、Dion さんのような強い女性ですら、YouTube で意見を発信したときに削除されたと聞き、私は「今の時代、誰かが声を上げなければならない」と強く思いました。結果がどうであれ、私は自分の心に正直に生きようと思いました。

本当の強さとは、お金や社会的地位ではなく、心の強さです。どれだけ遠くに行けるかは、自分の内面の力にかかっています。私は、必ず強い人間になれると信じています。従って、自分の使命や情熱を見つけ、それに全力を注ぐ人生を送りたいです。

3/5 水曜日

1. 盛泰国際とのミーティング - Deploy & IoD (英国経営者協会) 国際貿易グループ・ネットワーキングイベント & 浜口先生の誕生日ディナー - Bone Daddies

今日は浜口先生の誕生日でした。午前中、私たちは Sheng Tai International (マレーシアの不動産会社) とファッションブランド DEPLOY のビジネス会議を見学しました。夕方は IOD (英国経営者協会) のネットワーキングイベントで、浜口先生のアシスタントとして受付の手伝いをしました。

夜は浜口先生の誕生日ディナーに参加し、先生がみんなにラーメンとおつまみなどたくさんの食べ物をご馳走してくださいました。





Dong の感想

今日は初めてビジネス会議に参加しました。とても貴重な経験でした。会議の雰囲気を感じることができ、面白い話も聞きました。例えば、ファッションビジネスではホールセール（卸売）を慎重に考える必要があります。なぜなら、コピーされるリスクが高いからです。そのため、一番いい方法はポップアップストア（期間限定ショップ）を開くことだそうです。また、「time poor」という言葉も学びました。忙しいエグゼクティブたちは、自分でファッションを探す時間がないので、会社がお客様に洋服のブランドをアピールすることが大事です。夜の誕生日ディナーでは、久しぶりにラーメンを食べて、とても楽しかったです！

Wang の感想

今日は初めてビジネスの会議を体験しました。とても貴重な経験でした。午後のネットワーキングイベントでは、浜口先生のアシスタントをしました。受付でお客様にドリンクのバウチャーを渡す仕事をしました。私は今までアルバイトの経験がなかったので、これが初めての仕事のような体験でした。新しいことでしたが、ワクワクしました！

夜の誕生日ディナーでは、浜口先生の友達と一緒に祝いしました。特に Louiseさんと Lonさんが私たちをとても気にかけてくださったことが嬉しかったです。たくさんのゲストがいましたが、彼女たちは私たちがちゃんと食べられているか気にかけてくださいました。「食べ物が足りないかもしれない」「遠慮して注文できないかもしれない」と気を使ってくださったので、とても感謝しています。

3/6 木曜日

1. インターンシップ - City Livery Club

午前中、私たちは City Livery Club に行き、浜口先生の下でインターンシップの指導を受けました。先生は昨日のイベントについてフィードバックをくださいました。私たちはまだ積極的に動くことができていないと言われました。先生からの指示を待つのではなく、自分で考えて行動することが大切だと教えてくださいました。



Dong の感想

先生から、私はまだ全体を見る力が足りないと言われました。ビジネスパーソンになりたいなら、「thinking ahead」（先を考えること）が大切だと教えていただきました。

また、TPO（時間・場所・場合）を意識しなければならないとも言われました。浜口先生をただの先生ではなく、ビジネスパートナーとして考え、常に浜口先生のお役に立てることを考えるのが大切です。これは、将来仕事をするときにも必要なスキルです。

先生は、昨日のイベントで私たちが食事をしているかどうか気にしてくださり、チームのメンバーに手羽先と枝豆を持ってくるように頼んでいただきました。とても感謝しています。

Wang の感想

先生から、「もっと自分で考えて行動することが大切」と言われました。私たちは先生が言われたことを聞いてから動くことが多いので、もっと TPO を考えて先に動かなければならないと言われました。

また、昨日の先生の誕生日会では、私たちは二人で話していて、先生のことをあまり気にしていなかったことを反省しました。先生が何か頼みたい時、近くの人に伝えてもらわないといけなかったので、今後はインターンシップのアシスタントとしてもっと先生を見て、すぐに対応できるようになりたいです。

先生は「リーダーは周りの人の状況を常に見ていなければならない」と言われました。将来ビジネスをするとき、このスキルはとても大切だと思いました。

2. The Power of Sustainable Style, Women Accelerating ESG Action (持続可能なスタイルの力、女性が加速する ESG アクション) - Bates Wells

夜は、ファッションブランド DEPLOY のイベントに参加しました。ブランドの歴史やコンセプトについて学び、今のファッション業界のトレンドについても知ることができました。また、Sheng Tai International グループの John さんや Stephanie さん、マレーシアのキーパーソンである MEI SIM さんともお話しでき、とても良い経験になりました。



Dong の感想

今日のスピーチで、ある創業者が「服は人のためにデザインされるべきだ」と言われました。素材よりも「人」にフォーカスすることが大切だと話されました。これは、どの業界にも共通する考え方だと思いました。また、最近は何の業界も環境保護や資源の節約を大事にしていることに気づきました。サステナビリティは、今の時代とても重要なテーマになっていると思いました。

Wang の感想

今日のイベントで、ファッションブランドの多くは、なるべくコストを抑えて利益を上げようとしていることを知りました。その中で、DEPLOY は特別なストーリーやコンセプトを持っていて、いろいろな着方ができる服を作っているのが面白いと思いました。また、Sheng Tai International グループの John さんと Stephanie さんと話すことができました。二人ともとても優しく、「疲れていませんか？」と気を使ってくださいました。イベントが終わった後も「ありがとうございました」と声をかけてくださって、とても嬉しかったです。そして、今日のイベントの食べ物もとても美味しかったです。特に、マカロンが最高でした。



3/7 金曜日

1. 西ロンドンビジネス祭 - Holiday Inn London & 関西会ネットワーキングイベント - The Jack Horner Pub

午前中、私たちは West London Festival of Business 「西ロンドンビジネス祭」に参加し、さまざまなビジネスコミュニティの展示を見学しました。また、Neville SmithさんとMINAKOさんと話す機会があり、多くの新しいことを学びました。

夜は Kansai-kai Networking Event 「関西会」に参加し、人脈や視野を広げることができました。



Dong の感想

今日は本当に勉強になりました。Neville Smith さんに出会えたことはとても幸運でした。彼のビジネスの考え方を聞いて、今まで見えなかったことがはっきり分かるようになりました。浜口先生がこの機会をくださったことに、とても感謝しています。

情報 & 市場：ビジネスの基盤

Neville Smith さんは、「情報が一番大事」と言われました。市場の価格・需要と供給・商品品質・消費者の意見を知らなければ、正しい判断はできません。彼は、中国では低品質・中品質・高品質の市場があり、それぞれの層に異なるニーズがあると言われました。市場を理解しないと、正しい商品売ることはできません。市場は想像するものではなく、実際に見て経験することが大切です。そのため、工場や店を訪れ、商品を比べ、さまざまなビジネスモデルを観察する必要があります。彼はポーランドに住んでいた頃、ポーランドがヨーロッパの義烏（中国の町ギウ）のような低価格貿易市場だと気づきました。市場のチャンスは意外なところにあるかもしれませんが、それを見つける目と行動力が必要です。

人脈：本当に価値のあるつながり

Neville Smith さんは「社交はできるだけ早く始めたほうが良い」と言われました。国際貿易をするなら、さまざまな国の人と交流し、情報を得ることが重要です。市場は一人で理解するものではなく、多くの人と話すことで、新しいチャンスが生まれます。彼自身も「もっと早く networking（社交）を始めればよかった」と後悔しているそうです。また、名刺交換や連絡先の交換だけでは意味がなく、その後のフォローアップと信頼関係の構築が大切だとも言われました。人と話す前に、その人のことを調べ、共通の話題を見つけると良い印象を与えられるし、相手に対する尊敬にもなるそうです。

行動：計画よりも大切なもの

Neville Smith さんは「怠けるのは簡単だが、成長したいなら行動しなければならない」と言われました。どんなにいいアイデアがあっても、実行しなければ意味がありません。浜口先生も、「行動は言葉よりも大事」だと言われました。

私は Neville Smith さんに「後悔していること、失敗したことはありますか？」と聞きました。彼は

- ① もっと早く networking（社交）を始めればよかった
- ② もっと早く本を読むべきだった
- ③ 行動が足りなかった

の3つを挙げました。本を読むことは、ビジネスの理解を早める助けになります。またどんなに良いアイデアでも、実行力がなければ成功できません。

彼の話聞いて、「もっと早くやればよかった」と後悔するのではなく、今すぐ行動することが大切だと強く思いました。また、彼は「お金を稼ぐのは、お金を使うため。お金を使うのは、自由になるため。」と言われました。この考え方にとても共感しました。お金を貯めることが目的ではなく、選択肢を増やし、自分の自由を手に入れることが大事だと思います。今日学んだことはとても多く、Neville Smithさんの考え方に強く影響を受けました。この貴重な経験を無駄にせず、もっと積極的に学び、行動していきたいと思いました。

Wang の感想

朝、Russell Square から地下鉄で1時間ほどかけてイベント会場に向かいました。道中、ロンドンの郊外の風景を楽しむことができ、イギリスの美しい村を見ることができました。とても気持ちよかったです。イベント会場外では、とても優しいイギリス人のおじいさんに会いました。彼は中国語で話しかけてくれ、とても親しみやすかったです。彼の息子さんは上海に15年住んでいるようで、彼も中国にとっても興味があるようでした。さらに、彼は「この近くに美味しいレストランがあるよ！」と教えてくれました。とても温かい交流ができて、嬉しかったです。

午後、Neville Smithさんとお話しする機会があり、多くの新しい気づきを得ました。私はネットワーキングや語学学習について質問し、彼は丁寧に答えてくださいました。彼は、さまざまなイベントに参加することを勧めてくださいました。たとえ直接人と交流しなくても、周囲を観察し、聞くことで学べると教えてくださいました。また、市場の動向を常に把握することの重要性や、自分自身への投資が大切であることも強調されていました。彼とお話しできたことをとても幸運だと思います。このイベントは多くの学びを与えてくれただけでなく、ネットワーキングや自己成長について新たな視点を得る機会にもなりました。

3/8 土曜日 休日

今日の午前、先生のご友人二人と一緒に China Town の近くにある Lotus Garden で中華料理を食べました。食事の後、本屋に行って、その後は街を散策しました。夜は甘いデザートを食べました。



Dong の感想

久しぶりに中華料理を食べて、とても嬉しかったです。今日は事前に予約しなかったもので、観光地には行けませんでした。次はちゃんと予約しようと思います。午後、街を歩いているときに、急いで出かけたせいで靴を間違えてしまい、歩くのが大変でした。今日はたくさん歩いて、体のトレーニングになった気がします。

Wang の感想

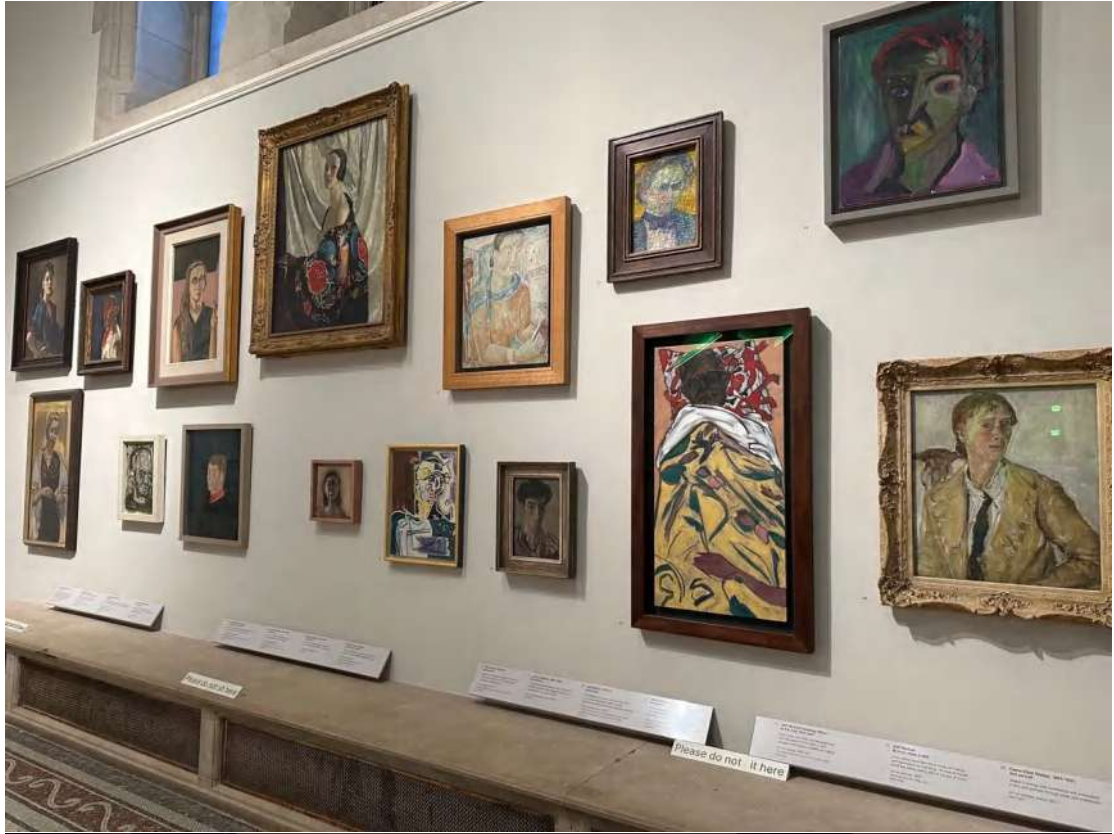
先生のご友人二人と一緒に食事ができて、嬉しかったです。二人ともとても優しく、私たちが足りるように気を使ってくださり、細かく気配りをしてくださいました。とても素敵な方々でした。その後、私の好きなヒーリング系の本屋に行き、本を二冊買いました。夜、ホテルに帰る途中で広東風のデザート屋を見つけました。好きな鮮奶麻薯芝麻糊 (Fresh Milk and Mochi in Sesame Paste) を注文して、とても美味しかったです。



3/9 日曜日 休日

今日の昼ごはんの後、National Portrait Gallery「英国立肖像美術館」に行つて、たくさんの美術作品を見ました。午後は Kensington Palace 「ケンジントン宮殿」に行つて、夜は River Thames 「テムズ川」に行き、船の上で夕食を食べました。





Dong の感想

今日は National Portrait Gallery 「英国立肖像美術館」で芸術を感じ、油絵の魅力を知ることができました。午後、公園を散歩しているとき、とても気分がよかったです。天気良くて、湖のそばでは白鳥が泳いでいて、芝生の上ではたくさんの方がピクニックをしていました。夜はテムズ川のクルーズで夕食を食べました。歌手の歌声がとてもきれいでしたが、少しうるさくて人も多かったです。でも、全体的にとっても楽しくて、充実した一日でした。

Wang の感想

午後は Louise さんにおすすめされた Kensington Palace 「ケンジントン宮殿」に行きました。そこはとても美しい場所で、天気も良かったです。芝生の上にはピクニックをしている人がたくさんいて、そばの小さな湖にはかわいいハトがいました。まわりの人たちはリラックスして、のんびりした時間を楽しんでいました。私も少し目を閉じて休んで、小鳥のさえずりを聞きながら、とてもリラックスできました。そよ風が顔に当たって、とても気持ちよかったです。自然にふれると、本当に心が穏やかになります。

3/10 月曜日

1. ロータリー・ロンドン倶楽部昼食会 - The Chesterfield Hotel & インタ
ーンシップ - The Flemings Hotel & トーストマスターズ例会 - Hotel
63

今日は3つのイベントがありました。午前中は Rotary London Club Lunch ミ
ーティングに参加して、Crime Stopper Charity の会長のスピーチを聞きまし
た。夜は Toastmasters Meeting に参加して、即興スピーチをしました。



Dong の感想

今日のスピーカーは、**Crime Stopper** での犯罪通報について話されました。私は、世界にはこんなに多くの危険な犯罪があることを初めて知りました。だからこそ、セキュリティを重視する組織が必要なのです。イギリスに来る前は、こういうチャリティの組織のことを聞いたことがありませんでした。でも、イギリスに来て、特に前日の **Business Festival** に参加したときも、こういう組織やセキュリティ会社がたくさんあることに驚きました。

午後のインターンシップでは、浜口先生がビジネスの場では感情的になりすぎないことが大切だと言われました。そして、メールを送るとき、特に大事なメールでは「お返事をいただけましたら幸いです」や「お返事をお待ちいたします」など、はっきり伝えるべきだと学びました。特に、自分の相手と一緒に行うプロジェクトに関係するメールでは、しっかり要返信と書かないと、相手が返信しなかったときにとっても困ることになります。

また、先生は国際的なビジネスパーソンになるためには、最低限お金をしっかり管理し、レシートをちゃんと取っておき、自分の生活費を把握することが大切だと言われました。さらに、“**Pay it forward**”（受けた優しさを次の人へ伝えていく）という考え方の大切さも教えてくださいました。

夜の **Toastmasters** では、私は人生で初めて、準備なしでスピーチをしました。この機会をととても楽しみにしていましたし、本当に貴重な経験ができました。これは私の人生でとても大切な1日になりました。そして、この経験を通して「もっと本気で英語を勉強しよう」という気持ちが強くなりました。また、自分の失敗を受け入れることの大切さも学びました。浜口先生も優しく励ましてくださって、とても感動しました。

Wang の感想

今日の午後のインターンシップで、浜口先生の体験の話をお聞かせいただいて、とても感動しました。先生はたくさんの経験やストーリーを話して下さって、本当にありがたかったです。さらに、メールのやりとりについても大事なポイントを学びました。それは「メールのタイトルをしっかり書くこと」です。特に忙しい人にメールを送るとき、タイトルに「返信が必要かどうか」をはっきり書かないと、相手はメールを読まずにスルーしてしまうかもしれません。この小さなポイントですが、仕事でのコミュニケーションの効率を上げるためにとっても大切だと感じました。

夜の即興スピーチは、私にとってとても大きな挑戦でした。英語で即興スピーチをするのは初めてでしたし、しかも最初のスピーカーでした。とても緊張しましたが、勇気を出してステージに立ち、挑戦できたことが本当に嬉しいです。さらに、「**Best Table Topics**」のベスト賞までいただきました。まさか自分が受賞するとは思っていなかったもので、とても驚きました。でも、

これは私にとってすごく大きな自信になりました。投票してくださった皆さん、本当にありがとうございました！

私はこの経験を通して、「日本に帰っても、**Toastmasters** の活動を続けよう！」と強く思いました。英語のスピーチをもっと練習して、どんどん挑戦していきたいです。他の人と比べる必要はありません。私の目標は、過去の自分を超えていくことです。



3/11 火曜日

1. インターンシップ - InterContinental London Hotel & マレーシア投資
貿易産業大臣 YB テンク・ザフルル氏との BMS (British Malaysian
Society) 会議 - Handley Page Room

今日は BMS Meeting に参加しました。午前中のインターンシップでは、浜口先生が昨日のレポートを添削してくださいました。その後、ホテルに戻って午後のインターンシップを行い、浜口先生が私たちの個人財務諸表についてアドバイスをくださいました。



Dong の感想

午前中、浜口先生は再び「良いイベント主催者」の大事なポイントについて話してくださいました。先生によると、良いイベント主催者になるためには、事前準備・写真撮影・会場の下見などが大切だと言われました。さらに、全員に気を配ることが重要であり、こうした細かい気配りは「ビジネスパーソン」にとって非常に大切だと教わりました。

昼、会議後の交流タイムでは、以前よりも緊張せず、自然に話せるようになったと感じました。以前と比べて少し成長できた気がして、自信がつけました。

午後、浜口先生に自分の財務諸表を見ていただいたとき、自分のお金の流れがよく分かっていないことに気付きました。やはり、自分の財産状況をしっかり把握することはとても大事だと実感しました。

また、先生は今日、フォローアップの重要性についても話してくださいました。私は今まで「相手に忘れられているのではないか」「迷惑になるかもしれない」と思い、フォローアップを避けていたことが多かったです。しかし、その結果、良い関係を築くチャンスを逃していたと気付きました。

先生は、「最大の敵は自分自身である」と言われました。自分で「どうせ無理だ」「きっと断られる」と思い込んで、行動に移せなくなってしまう。だからこそ、こういうときには「発想の転換」が大切だと教わりました。「失敗を恐れず、まずは自分の心の扉を開いて、積極的に行動することが大切だ」との言葉に、深く共感しました。さらに先生は、「人は見ているもの」と話してくださいました。頑張っている人の努力は、いつか必ず誰かが気付いてくれます。

もし誰かが傲慢で、フォローアップしても冷たく対応されたら、その人にこだわる必要はないです。それよりも、「反面教師」として捉え、むしろ「こんな人と関わらなくて済んでよかった」と前向きに考えた方がいいと教えてくださいました。私は「もし人から見下されたらどうすればいいですか？」と先生に伺いました。すると、先生は「その人があなたの良さに気付こうとしないなら、無理にアピールする必要はない。世界には自分のことを好きにならない人がいるのは当たり前。そういう人のために時間や労力を使うのはもったいない」と言われました。

この言葉を聞いて、「すべての人に好かれようとするよりも、自分を理解し、応援してくれる人に力を注ぐことの方が大切だ」と強く感じました。

夜、私たちは『オペラ座の怪人』を観に行きました。これは『レ・ミゼラブル』とは全く異なる音楽のスタイルで、その旋律がまるで幻影のように頭の中に響き続け、とても魅力的でした。

Wang の感想

イベントが始まる前、私たちは会場から徒歩1分ほどのホテルでインターンシップを行いました。私は「なぜ毎回、先生は会場のすぐ近くのホテルを選ぶのだろうか？」と不思議に思っていたのですが、先生は「リーダーとしてビッグピクチャー（大局観）を持つことが大事」と話してくださいました。自分のことだけでなく、周囲の人々の状況まで考えることが、良いリーダーに必要なだと学びました。

また、私は Aki 先輩にとっても感謝しています。Aki 先輩は、毎回私たちのレポートに文法のアドバイスだけでなく、温かいコメントや励ましの言葉も書いてくださいます。その優しさに心が温かくなり、先輩の姿勢にとっても尊敬の気持ちを抱きました。

今日の BMS Meeting では、参加者の皆さんがとてもフレンドリーで、積極的に話しかけてくださったのが印象的でした。そのおかげで、緊張することなく楽しく交流することができました。

午後、先生が話してくださった「発想の転換」という考え方もとても印象に残っています。どんなに嫌なことや思い通りにいかないことがあったとしても、「この経験はきっと自分のためになる」と前向きに考えることが大切だと教えてくださいました。私はこの考え方がとても素晴らしいと思い、これから意識して取り入れていきたいと思いました。

夜は、Dong と一緒に『オペラ座の怪人』を観に行きました。本当に感動的でした。チケットが少し高かったので、「せっかくならもっと楽しみたい」と思い、前日の夜に映画版の『オペラ座の怪人』を観て、予習をしました。結局、映画を見終わったのは夜中の2時になってしまいましたが、舞台をより楽しめたので、とても良い時間の使い方だったと感じています。『オペラ座の怪人』の音楽が大好きだったので、あの名曲が流れた瞬間、鳥肌が立つほど心を揺さぶられました。



3/12 水曜日

1. **Enabling Change Conference 「変革を実現する会議」**
- the University of East London

午前中、University of East London に行き、会議に参加しました。その際に、LouiseさんとLonさんの手伝いとして、CCgirlのメンバー募集の受付を担当しました。



Dong の感想

午前中に手伝いをしている時に気づいたのは、ポストカードを渡す時は、指示にこだわりすぎるよりも、もっと柔軟に対応した方がいいということです。もっと親しみやすく見えると思いました。例えば、先生のチームメンバーである Lon さんのお姉さんは、ポストカードを配る時に、ターゲットになりそうな人が興味を持ってくれたらもう 1 枚渡したり、ターゲットとは違いそうな人には簡単に挨拶するだけで終わらせたりしていました。

こういうバランスの取り方や臨機応変な対応はすごく大事だと思いました。それに、このお姉さんはとても優しくて感じの良い方でした。会議の中では、慈善団体の方が AI の重要性について話していました。これからの時代、個人も時代の流れに合わせて学んでいく必要があると強く感じました。

Wang の感想

今日は初めて受付の仕事をして、色々学ぶことができました。たくさんの人と話せて、とても楽しかったです。その中で、パキスタンの方に「中国人ですか？」と聞かれました。私が「はい」と答えたら、なんとその方がいきなり中国語で話しかけてくれて、びっくりしました。他の大学生もとてもフレンドリーで、CCgirl のメンバーになったみなさんを見て、とても誇らしい気持ちになりました。

しかし、何人かの男性から「男も参加できるのに、どうしてブランド名は CCgirl なんですか？」と聞かれて、少し困りました。

2. MAMMA MIA Party - The O2

夜は、浜口先生、Yuka先輩、Azizahさんと一緒にMAMMA MIA Partyに参加しました。



Dong の感想

夜のパーティーは本当に楽しかったです！会場はギリシャ風のデザインで、花や噴水がたくさんあって、とてもロマンチックな雰囲気でした。途中で隣に座っている知らない人と握手して話す時間があった、とても面白かったです。このパーティーで『Mamma Mia』のミュージカルにすごく興味が湧きました。

料理もおいしかったです。特にラム肉が絶品でした。こういう雰囲気は、日本や中国ではあまり体験したことがなくて、みんなで音楽を楽しんで、おいしいものを食べて、一緒に踊って、本当に幸せな時間でした。いつか絶対にギリシャに行ってみたいと思いました。

Wang の感想

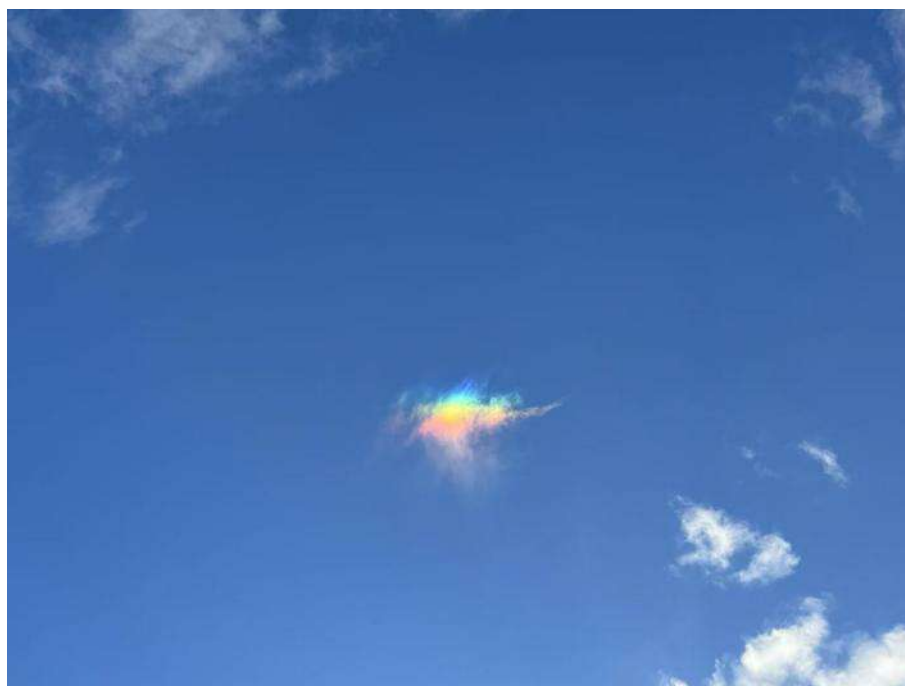
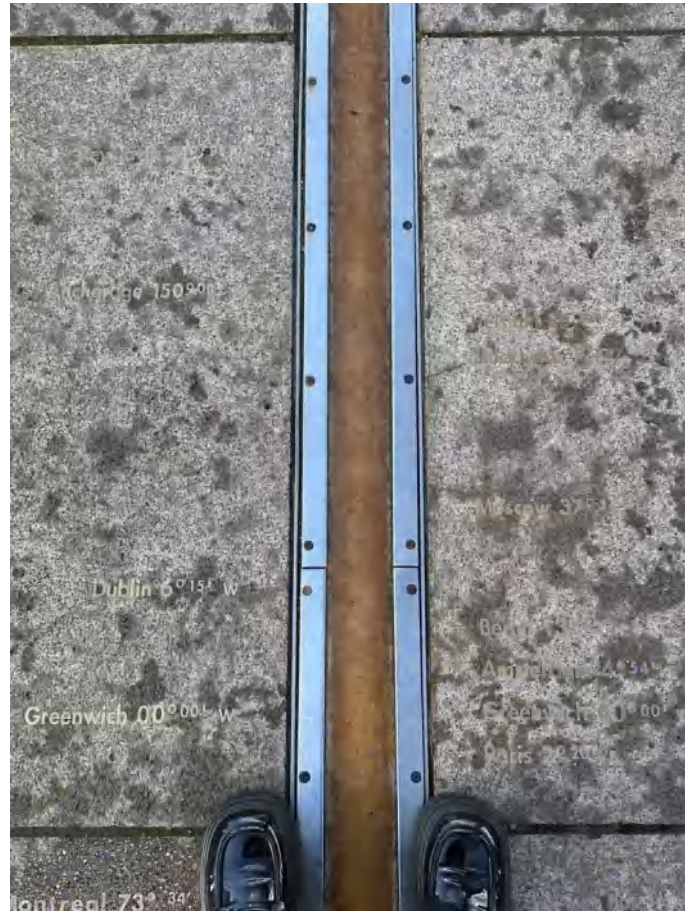
今夜は本当に楽しかったです！みんなで食事しながら踊って、すごくいい雰囲気、こんなに楽しい気分を味わったのは、東京で好きな歌手の林俊傑 (JJ Lin) のライブに行った時以来でした。正直、チケットは安くなかったし、料理はそこまで美味しいとは思わなかったけれど、スタッフの方々はとても親切で、雰囲気は本当に素晴らしかったです。

最後に、キラキラした服を着たおばさん2人が手を繋いで幸せそうに踊っている姿を見て、とても感動しました。音楽と踊りのパワーを感じて、その瞬間を心から楽しむことができました。「今、この瞬間を楽しむ」ことは、すごく素敵なことだなと思いました。



3/13 木曜日 休日

今日は休みの日で、グリニッジマーケットで昼食を食べた後、午後にグリニッジ天文台を見学しました。



Dong の感想

ロンドンの天気は本当に変わりやすいです。今日は空に大きな雲がいっぱい、雨が降ったり止んだりしました。昼食はマーケットで3つの屋台を試しましたが、他のものはおいしかったのに、小籠包だけは残念でした。もうイギリスの中華には期待しません。公園を歩いていますと、天気が少し晴れて、気分がよくなりました。ロンドンの公園は本当に気持ちがよくて、ゆっくり散歩できて、かわいい犬がたくさん草の上で遊んでいました。丸くてかわいかったです。

その後、グリニッジで時計の歴史を見学しました。昔の人たちがこんなに精密な機械を作っていたことに驚きました。先人たちの知恵の深さに驚かされました。幸い、雨は長く降らなかったのも、高校の地理の教科書に出てくる本初子午線を見に行けました。ロンドンはずっと寒くなって、今日は晴れもなく、夕暮れ時に予定していたロープウェイには行けませんでした。少し残念でしたが、偶然見つけたおいしいタピオカのカフェで、楽しい一日になりました。

Wang の感想

今日は天気が悪く、雨が降りました。昼はグリニッジマーケットで、トルコのジャガイモとキノコのパイなど、おいしい食べ物をたくさん食べました。しかし、小籠包は期待外れでした。味が美味しくなくて値段も高く、しかも冷凍食品だったので、少し残念に思いました。

午後はグリニッジ天文台に行き、途中でグリニッジパークを通りました。公園の環境は本当に素晴らしくて、雨が上がった後で空気が澄んでいて、景色もきれいでした。最も驚いたのは、偶然にも虹を見られたことでした。ほんの一瞬だけでしたが、私はラッキーにもその瞬間を写真に収めました。

夜はクラウドケーブルカーに行く予定でしたが、寒すぎてキャンセルしました。その後、Haute Dolci というカフェを通りかかり、あまりお腹が空いていなかったんで飲み物だけ注文しました。店員さんが私たちが飲み物しか頼まなかったんで、私たちに話しかけてきて、「どこから来たのですか？」と聞かれました。私たちが中国から来たと言うと、店員さんは「中国人はあまり食べないのですか？」と興味深そうに聞いてきました。私たちは笑って、「実は中国人は結構食べるんですよ」と説明しました。

その会話はとても面白くて、店員さんがとても気に入りました。最後には、無料でフルーツをもらって、本当に嬉しかったです。

3/14 金曜日

1. インターンシップ & ネガポジ対話 & フィッシュ&チップス・ランチ
- City Livery Club

今日は午前中に、浜口先生と一緒に「ネガポジ対話」のオンラインセミナーに参加しました。みなさんが仕事に関するネガティブな気持ちを話していて、とても勉強になり、これからの人生にも役に立つと感じました。昼は、浜口先生と Mayumi さんと一緒にフィッシュ&チップスのセットを食べました。午後は、City Livery Club で先生のご友人の方々と交流し、それぞれの経験やさまざまな面白い話を聞くことができました。



Dong の感想

午前中の話し合いの中で、特に印象に残った「モヤモヤには感情の共有がされていない」という言葉があります。この言葉にはとても納得しました。でも、私は「なぜわざわざ知らない人たちに自分の“モヤモヤ”を話そうとするのか？」が少し理解できませんでした。普通は、こういう悩みは友達に話して気持ちを吐き出すものではないかと思います。知らない人たちに悩みを打ち明けるのは、逆にとてもプレッシャーがかかりそうに感じました。

昼ご飯のフィッシュ&チップスは本当においしかったです。浜口先生のおかげで、安くて大きくてとてもおいしいイギリスの名物を食べることができて、本当にラッキーでした。全部食べ切って、すごく満足しました。

午後の話し合いでは、「社会的責任感」についての話がとても印象に残りました。浜口先生は、「他人の努力を見つけることが大切」と言われました。この言葉を聞いて、すごく感動しました。浜口先生のように、他人の努力を見つけて認めてくれる人がいるからこそ、努力がチャンスにつながり、より多くの方がチャンスを得られるのだということです。そして、私自身が今回のようなチャンスに恵まれたのも、先生のような方がいたからこそだと感じました。そのおかげで、私も「もっと努力しよう」という気持ちが強くなりました。私も将来、浜口先生のように「人にチャンスを与えられる人」になりたいです。

「Pay it forward (受けた優しさを次の人へ伝えていく)」という言葉のように、私も将来、誰かが助けを必要としているときには、自ら手を差し伸べられる人になりたいと思いました。

また、先生が人にチャンスを与え続けられるのは、先生自身がとても「チャンスをつかむのが上手な人」だからだと感じました。先生は、誰かが困っているときに、いつもタイミングよく助けの手を差し伸べることができます。だからこそ、他の人たちとの間に強い信頼関係が築けているのだと思いました。「人付き合いは、急いで親しくなろうとするとすぐに離れてしまう」という先生の言葉も印象に残っています。逆に、ゆっくりと少しずつ関係を深めることで、より親しく、より強い関係が築けると言われました。だからこそ、人と関わる時は焦らず、じっくりと関係を築いていきたいと思いました。

最後に、自分の努力についても新たな気づきがありました。浜口先生は、「自分の努力は、ちゃんと見てくれる人が見てくれる。見てくれない人に無理に認めさせる必要はない」と言われました。この言葉に、私はとても安心しました。努力は、無理に誰かに見せつけるものではなく、着実に積み重ねていくものなのだと感じました。コツコツ頑張っていれば、きっと分かってくれる人が現れると信じて、これからも努力を続けていきたいです。

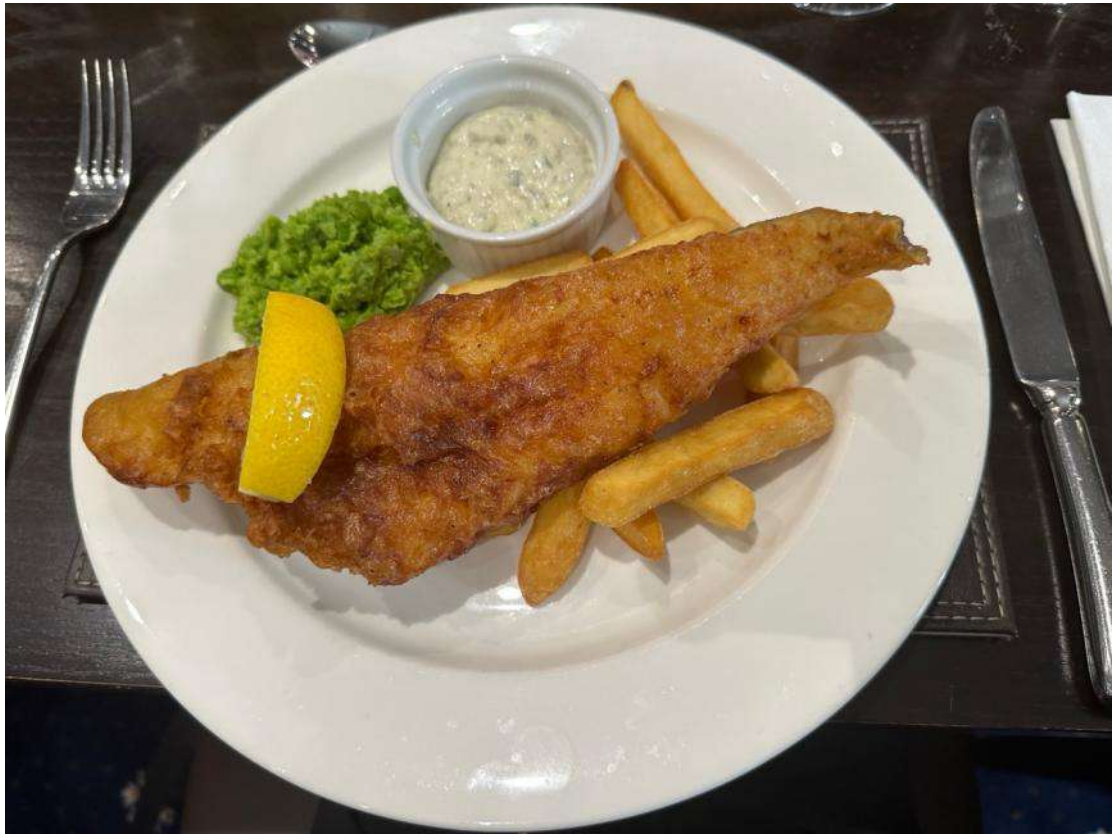
今日の話し合いを通して、「人生は経験の積み重ね」だと改めて感じました。どんな経験も大切にして、感謝の気持ちを忘れずに過ごしたいと思います。

Wang の感想

午前中の「ネガポジ対話」で印象に残った言葉は、「すべての話が相手に共感されるとは限らない。だからこそ、曖昧な返事をもらうことがある。」という言葉です。この言葉は、私にとってとても考えさせられるものでした。昼食では、Mayumiさんと一緒に食事をしながら、彼女の人生経験についてお話を聞くことができました。特に、ご家族や農業に関するお話をされているとき、Mayumiさんの気持ちがとても伝わってきて、感動しました。Mayumiさんは、優しさと強さを持ち合わせた素晴らしい方だと思い、すごく尊敬できる方でした。そして、今日が私にとってイギリスで初めて食べたフィッシュ&チップスの日でもありました。想像以上においしくて、特に枝豆のペーストとの相性が抜群で、2人前でも食べられそうなほど気に入りました。

午後の交流会では、浜口先生のご友人の方々とお話ができ、とても楽しかったです。改めて、浜口先生の素晴らしい人脈やリーダーシップに感動しました。最近、社交の場に参加しても、一度会っただけでその後つながることが多いと感じています。そんな中、浜口先生が「フォローアップが大切」と強調されていたのが印象的でした。先生が主催する交流会では、関係がその場限りで終わるのではなく、しっかりとした信頼関係が築かれていくのが素晴らしいと思いました。私も将来、先生のように、意味のある人間関係を築いていきたいです。

また、浜口先生は、ご自身が学んできた知識や経験を惜しみなく他の人に伝えていることも、すごいと感じました。その「Pay it forward (受けた優しさを次の人へ伝えていく)」という考え方は、お金や地位よりも価値があるものだと思います。こんなに素晴らしい実習の機会をいただけたことに改めて感謝しました。そして、こうした素敵な出会いの場を用意してくださった中央大学にも、心から感謝しています。



3/15 土曜日 休日

今日はお休みの日でした。来週帰国するので、お土産を買いにいくつかの店をまわりました。午後と一緒に Jellycat に並んで、イギリス限定のフィッシュ&チップスのぬいぐるみを買いました。とてもかわいかったです。

Dong の感想

ロンドンの天気は厚着が必要なくらい寒くなってきましたが、今日はとても健康的な一日でした。Jellycat を買うために5~6軒のお店をまわって、寒い中たくさん歩いたので、いい運動になりました。意志力も少し強くなった気がします。でも、そのかいあって、ずっと欲しかったぬいぐるみをやっと買って本当に嬉しかったです。さらに、店員さんの元気なパフォーマンスもとても楽しかったです。そのおかげで、たくさんお金を使ったショックも少しマシになった気がします。



Wang の感想

来週にはもう帰国だなんて、時間が経つのが本当に早くて、ロンドンを離れるのがとても寂しいです。今日は、ずっと欲しかった Jellycat のプレッツェルのキーホルダーを買って、とても嬉しかったです。それから、Dong と一緒に並んでイギリス限定のフィッシュ&チップスのぬいぐるみを買いました。店員さんのパフォーマンスやお客さんとのやりとりがとても面白くて、すごく楽しかったです。

3/16 日曜日 休日

今日は休みの日で、日帰りツアーでブライトンビーチとセブン・シスターズに行きました。



Dong の感想

今日は行きと帰りで6時間もかかって、小型バスの移動がとても大変でした。私は乗り物酔いが心配だったので、酔い止めの薬を飲みましたが、その副作用が強くて一日中ずっと眠かったです。風がとても強かったのに、全然目が覚めませんでした。景色はとてもきれいだったのに、あまりちゃんと見られなくて残念です。でも、ブライトンの海は江の島の海にすごく似ているなと思いました。

Wang の感想

今日は風が強くて、特にブライトンビーチとセブン・シスターズではとても寒かったです。でも、ブライトンで散歩していたとき、たまたま入ったアクセサリーのお店があって、そのアクセサリーがとても可愛かったです。全部手作りで、ちょっと高かったけれど、とても素敵でした。セブン・シスターズの白い崖の上ではハイキングしている人がたくさんいました。でも、今の季節は私にはちょっと寒かったです。今度暖かい時期に来るチャンスがあったら、私もハイキングしてみたいです。

3/17 月曜日

1. インターンシップ - National Liberal Club & イギリス式アフタヌーンティー - Royal Horseguards Hotel

今日は午前中、National Liberal Club で浜口先生にインターンシップのご指導をいただきました。浜口先生は、ロンドンでの1か月間の出費を整理し、今後1年間の学費と生活の予算を立てるようと言われました。これはとても価値のある経験で、自分の消費状況をよりはっきりと理解できる良い機会になりました。

午後はクラブの隣にあるホテルでイギリス式アフタヌーンティーを楽しみました。お茶を飲みながらみんなで話し、リラックスした雰囲気の中でとても幸せな時間を過ごしました。



Dong の感想

今日は何でもやりたがるのは良くないということを学びました。欲張りすぎると、結局何もできなくなってしまうからです。これは、先延ばし癖が生まれる原因の一つだと思いました。物事には緩急順位があり、うまくペースをつかむことが大切です。そのためには「リストの順位付け」を活用して計画を立てるのが効果的だと感じました。さらに、休憩を取ることも大事ですが、休憩とは単に体を休めるだけでなく、心の中のネガティブな感情を取り除くことも含まれると気づきました。ネガティブな感情もエネルギーを使い果たすからです。

今日の気づきの一つは、「大事なのは覚えることだけではなく、忘れることも同じくらい大切だ」ということです。特に、嫌な感情やネガティブな出来事は忘れてこそ、前向きに進むエネルギーが生まれるのだと感じました。

また、人生の選択について、浜口先生が中国の古いことわざを教えてくださいました。

「人間万事塞翁が馬」（人生には悪いことの中にも良いことが隠れている）という言葉です。

さらに、「親しき仲にも礼儀あり」という言葉も教わりました。たとえば、友達と一緒に遊びに行き、お互いの機嫌が悪い時は、無理に一緒にいるよりも、しばらく別行動をするのが良いという話でした。たとえ仲の良い友達でも、適度な距離を保つことが大切だという考え方にとっても共感しました。中国にも「距離が美を生む」という似たことわざがありますが、まさにその通りだと思いました。

また、先生が「人生で一番大事なのは自分の心だ」と話してくださいました。私はいつも他人の目を気にして、自分の本音を抑えてしまうことがよくあります。そんな私に、浜口先生が「トレーニングをするといい」とアドバイスしてくださいました。例えば、電車で堂々と英字新聞を読むと、周りの人は変な目で見られるかもしれませんが、でも、そういう経験を重ねることで、他人の視線を気にしない自分になれると教えていただきました。

Wang の感想

午前中、自分の1か月の出費を計算しました。正直に言うと、自分がいくら使っているのか、これまで真剣に計算したことがありませんでした。小さい頃から、お金の管理に対する意識や習慣がなく、今でも日本での1年間の生活費や学費を聞かれても答えられません。今日、しっかり計算してみても驚いたのは、食費が思った以上に高かったことです。面倒な作業ではありましたが、同時にとっても興味深く感じました。自分の出費状況が分かることで、これからの計画が立てやすくなり、将来の財務管理にも役立つと思いました。これからも続けていきたいと思います。

午後、浜口先生と一緒にアフタヌーンティーをしながら、印象に残る話題がたくさん出ました。先生の側にいると、いつもエネルギーをいただいたような気分になります。前日にどんなに疲れていても、先生と会った瞬間に元気を取り戻すことができます。先生は、何でも気軽に話せる方です。会話の中で、私たちは中国のことわざ「塞翁失馬、焉知非福」について話しました。この言葉にはとても共感しています。生活の中で予期しない出来事やうまくいかないことに遭遇することがありますが、その瞬間の感情でそれらが「悪いこと」のように感じる場合があります。しかし、私はいつも信じています。世の中で起こるすべての出来事は、最終的には自分にとって良い結果になります。もし、こうした考え方で挑戦すれば、すぐに発想の転換で、危機をチャンスに変えることができると思います。私は、この考え方が非常に大事だと感じています。

また、浜口先生は「感謝の気持ち」についても話してくださいました。ロンドンでの1ヶ月間の生活の中で、私は自分に特別な「才能」があることに気づきました。それは感謝の気持ちを持つことです。私は他の人の親切をとっても感じやすい人で、感動したり、感謝したいと思ったりする人に出会うたびに、心が温かくなります。でも、昔は恥ずかしくて、気恥ずかしくて、その気持ちを直接伝えることができませんでした。実は、感謝はただ相手に感謝の気持ちを伝えることだけでなく、自分自身に力を与えてくれる方法だと気づきました。誰かに自分の気持ちや感謝を伝えると、自分自身も強い温かさを感じるのです。この感動はよく涙を誘いますが、それは私にとって大切な才能だと思います。そのため、私は感謝の気持ちを自分の人生の信条として、心に刻むことに決めました。

それに加えて、私は先生に人間関係の悩みをお話しました。私は個人の空間が必要なタイプで、親しい友達と旅行をする時、何日か一緒に過ごす時、相手が不満を感じていることに気づくことがあります。そんな時、ケンカになったりもします。毎回そのようなことが起きると、とても悲しくなり、自分の性格に問題があるのかと勝手に思ってしまう。でも浜口先生は「親しき中にも礼儀あり」という言葉を教えてくださいました。この言葉にはとても共感しました。世界中の人はみんな違うので、意見の違いが出るのは当然です。いつも全員が同じ意見で争わないことを求めるのは、人間らしくないと思い

ます。そのため、私は最も親しい友達と一緒に旅行しても、意見が食い違うのは普通のことだと受け入れることを学ばなければなりません。

さらに、浜口先生は「この世界に『間違い』はない」という言葉も教えてくださいました。この言葉にも深く共感しています。人はいつも自分の判断を疑い、自己否定してしまうことが多いです。でも、私は人生で大事なことの一つは、無条件で自分を愛し、自信を持つことだと思っています。これからは、自分の考えを100%信じて、結果を恐れずに受け入れるつもりです。若い人にとっては簡単なことではありませんが、迷った時にはこの言葉を自分に言い聞かせて、前に進み続けます。先生と話すたびに、たくさんのことを学び、これを記録してもっと多くの人とシェアしたいと思っています。人生の終わりには、物を持って行くことはできませんが、善意を伝え残すことはできます。そのため、私は先生のように善意を伝えていきたいです。私にとって、「Pay It Forward（受けた優しさを次の人へ伝えていく）」は最も大事な意味があり、幸せを感じさせてくれます。

2. PAWA（パンアジア女性協会）第15回年次総会 - Euronext

夜に、私たちはPAWA（パンアジア女性協会）の第15回年次総会に参加しました。PAWAは、アジアの貧困女性の教育を支援することを目的とした団体です。会では、複数の講演者の話を聞き、今でも多くの女性が教育を受ける権利を持っていないことを知りました。PAWAの理念の一つは、「Educate a Girl, Change a Life, Break The Cycle（1人の女の子を教育すれば、人生が変わり、貧困の連鎖を断ち切る）」です。



Dong の感想

夜の講演で、私が最も感動したのは、2枚のPPTの内容です。

1. 教育は運命を変える

ある女の子が教育を受けることで、自分の運命を変え、その後他の女の子たちを助きました。この「pay it forward (受けた優しさを次の人へ伝えていく)」の精神には感銘しました。今、私は先生から教をいただいています。が、もっと強くなったときには、自分も他の人に恩返しをして、自分の経験や感想を共有したいと思います。これが私の将来の使命の一つだと感じています。

2. Inspiring girl の話

チャリティーイベントで、Srey という女の子の話を聞きました。彼女はPAWAが支援する寮の卒業生で、こう言いました：「家に帰ると、若い学生たちと話したり、勉強を手伝ったりするのがとても楽しいです。将来は大学に行き、社会福祉士になりたいです。カンボジアでは社会福祉士が少ないので、もっとこうした人が必要です。」この言葉にはとても感動しました。この世界では、もっと多くの優れた女性が立ち上がる必要があると感じました。この慈善イベントでは、ほとんどの参加者が女性で、彼女たちは自分たちの力で他の女性を支援していました。私も将来、自分をもっと力をつけたとき、彼女たちのように多くの人を支援できる人になりたいと思います。

Wang の感想

この活動を通して、今の自分の生活がどれほど幸運なことかを深く感じました。ある地域では、女性が教育を受ける権利すらなく、13歳で結婚して子供を産まされることもあります。もし子供が生まれなければ、捨てられることもあるそうです。この現実には驚き、21世紀にこんな不公平なことがまだあるなんて信じられません。PAWAのような団体が存在するおかげで、世界は少しずつ良くなっています。これを聞いて、中国の張桂梅校長を思い出しました。張先生は貧困層の女の子たちの教育に人生を捧げ、病気を抱えながらも教え続けています。張先生は、家庭の事情で学校を辞めたり、早婚を強いられたりする貧困の中で育った女の子たちを助けるために、募金活動を行い、中国で初めての全額無料の女子高校を開設しました。今までに2000人以上の貧困女子生徒を大学に進学させています。私は、自分の存在意義は、もっと多くの女の子たちにより良い未来を提供するためだと信じています。

3/18 火曜日

1. ZOOM ミーティング (Dion 氏) - オンライン

午前、浜口先生と Dion Johnson さんとオンラインミーティングを行いました。3月4日に Dion Johnson さんとお話しして以来、私たちは深く感動していました。忙しい中、今日またお話しできるとは思わず、とても貴重な機会だと感じました。ミーティングでは、それぞれ質問をし、Dion さんは丁寧に答えてくださり、大きな励ましと気づきを与えてくださいました。



Dong の感想

今日は Dion さんの教えを聞く機会をいただき、本当に感謝しています。彼女のエネルギーに満ちたアドバイスは、私の進む道をより明確にしてくださいました。自分を大切に、内面の声に耳を傾ける決意がさらに固まりました。

力 (Power) について

本当の力は、行動を続けることから生まれるのではなく、自分自身の力を深く理解することから生まれます。私たちは生まれつきこの力を持っていますが、重要なのはそれをどう使うかを学ぶことです。時に、人々は男性が女性を超えていくように感じるかもしれません。しかし、それは主に男性が政治を主導し、絶え間ない行動によって自らの地位を確立してきたからです。力の本質とは、何かを実現させる能力です。Dion さんは「このことを理解すれば、自分を証明しようとする必要はなくなる」と教えてくださいました。

成長 (Growth) について

成長は意志の力だけではなく、適切な環境が必要です。種が大木になるには、適した土壌と気候が不可欠です。Dion さんは人にとって、その環境が「愛」と「目標」だと言われました。

Dion さんは「成長の第一歩は、自分を受け入れ、愛すること」と言われました。恐れに直面した時こそ、勇気を持って挑戦すべきです。そして、私が抱えている自己への疑問や迷いは、前進の助けにはなりません。私を前に進ませるものは、「愛」と「目標」なのです。

これらは遠い存在ではなく、きっと見つけられると信じています。そして、自分の基本的な欲求を満たすことが自信を築く基盤となります。「自分にはその価値がある」と信じることで、私は本当の強さを手に入れられるのだと思います。

思考と信念について

私は、自分の思考が自分を形作ることに気づきました。「自分が信じるもの」こそが、自分自身を創るのです。そのため、自分の信念を選び、内面の本当の声に耳を傾けることが大切です。このプロセスを通じて、私は現実を変える力を持つことができるのだと感じました。

行動と信念について

成長には、決意と行動が欠かせません。混乱の中でも自分の考えを捉え、それに従い前進することを学びます。

愛と与えることについて

自分の内面を見つめるには、心を開き、探求することが必要です。本当の愛は、誰かからもらうものではなく、自ら与えるものです。愛を求めるなら、まずは自分から愛を与えなければなりません。何かを得たいなら、まずそれを与えることから始めるべきなのです。

Wang の感想

私は本当に Dion さんが大好きです。初めてお会いした時、彼女の話や言葉に込められたエネルギーに深く感動し、涙が出ました。そして今回の対話でも、また感激のあまり涙を流してしまいました。ミーティングの終わり頃、Dion さん自身も少し涙ぐんでいるのを見て、彼女が私たちと本当に誠実に向き合ってくださることを感じ、心から感謝しました。

対話の中で、私は Dion さんに「あなたや浜口先生のような強い女性になりたい」と伝えました。すると、Dion さんは自身の経験を話してくださいました。

以前の彼女は、自分よりも強く優れた人を見ると、「自分には足りない」「自分にはできない」と感じていたそうです。でも、後になって気づいたことがあります。それは、「誰もが生まれながらに力を持っている」ということです。その力を見つけることこそが、人生の課題の一つなのだと教えてくださいました。

私はまた、Dion さんと「感謝」についても話しました。私は「知足常楽（ちそくじょうらく）」という中国のことわざを紹介しました。私は、今あるものに感謝し、大切にすることができれば、もっと幸せを感じられると考えています。Dion さんも、「自分に足りないものばかりに目を向け、自己否定や後悔にとらわれてしまうと、最終的には不幸になるだけだ」と話してくださいました。

また、私は「感謝や幸せを感じると、すぐに涙が出てしまう」と Dion さんに伝えました。すると、彼女は「それはあなたの才能の一つ。ぜひ、その力をどう活かせるか考えてみて」と言ってくださいました。

最近、私はあることをより深く理解するようになりました。多くの人が「愛」を求め、誰かに愛されたいと願っています。でも実は、私たちは誰かから愛を受け取るのを待つ必要はないのです。なぜなら、「私たちの存在そのものが愛だから」です。愛は、待つものではなく、自ら生み出すものなのです。

3/19 水曜日

1. Bilingual Breakfast for Mandarin Teachers: Sharing Best Practice - Kensington Wade School

(バイリンガル朝食会：ケンジントン・ウェイド・スクールでの中国語教師向け交流会)

今日、私たちは Kensington Wade School のバイリンガル中国語教師向け朝食会に参加しました。この学校のバイリンガル教育の理念や背景について学び、とてもかわいい子どもたちにも会いました。実際の授業風景も見ることができ、とても特別な体験でした。また、朝食にはとても美味しいクロワッサンもあり、温かい雰囲気イベントでした。



Dong の感想

今日のイベントはとても感動しました。海外で中国語や中国文化が広がっていることを見て、とても嬉しく思いました。中国文化は忘れられるどころか、海外で新しい活力を持って発展していると感じました。この学校の教育スタイルもとても印象的でした。中国式の教育の特徴を持ちながらも、プレッシャーが少なく、宿題の量もあまり多くありませんでした。この「良い部分だけを取り入れる」教育方法がとても魅力的でした。

また、教師チームの協力体制も素晴らしかったです。各ユニットの授業内容は異なりますが、先生たちの教え方は統一されていて、とてもプロフェッショナルでした。

特に印象に残ったのは、二人の子どもたちです。とてもかわいく、しかも中国語の表現力が素晴らしかったです。話し方が論理的で、思考力も高く、本当に驚きました。

Wang の感想

この学校の教育スタイルには本当に驚きました。私は今まで「バイリンガル教育」というものをしっかりと理解していませんでしたが、Kensington Wade School の教育を見て、初めて本当の「バイリンガル教育」を体験しました。中国にも外国語を重視する私立学校は多くありますが、この学校は「完全なバイリンガル環境」を作り出していると感じました。先生の質やカリキュラムの作り方からも、中国語と英語がしっかりと融合していることが分かりました。

また、今日出会った二人の子どもたちにも本当に驚かされました。彼らが中国語を話したとき、その発音や言語の使い方がとても自然で、ほぼ完璧でした。外国人にとって中国語の発音はとても難しいはずですが、この学校の教育がいかに素晴らしいかを実感しました。さらに、彼らは質問に対しても自信を持って答え、考え方もとても論理的でした。正直に言うと、私自身、質問の内容を少し理解できなかった部分もありましたが、子どもたちはしっかりと答えていて、本当に驚きました。

この学校の雰囲気や子どもたちの様子を見て、私はここで働いてみたいと思いました。イベントの後、学校の担当者に質問しました。もしチャンスがあれば、いつかこのようなバイリンガル学校で経験を積んでみたいです。

2. インターンシップ - Waterstones & アンバサダーとの交流 - Royal Thai Embassy

午後、私たちはカフェで浜口先生と一緒に実習をしました。先生は私たちの日常報告の文法ミスを修正してくださり、一緒にこのインターンシップの経験を振り返りました。そして、カフェで浜口先生のご友人たちと会いました。夜はタイ大使館での交流イベントに参加しました。気がつけば、明日はもう最終日です。時間が過ぎるのが本当に早く感じます。



Dong の感想

午後、盲目のカップルに会いました。彼らの話はとても感動的でした。男性は写真家で、彼の本には「24歳で失明したことで、新しい人生が始まり、とてもワクワクした」と書かれていました。今、彼らは世界中を旅し、ポジティブな姿勢で人生を楽しんでいます。彼らの生き方を見て、私も勇気をいただきました。私は彼らのノートにそっとメッセージを書き、心からの祝福を送りました。

夜のタイ大使館でのお料理もとても美味しく、幸せな気持ちになりました。でも、それ以上に楽しかったのは、人々との交流でした。特に印象に残ったのは、日本人の女性起業家との会話です。彼女はとても自信があり、ユーモアのある人で、話していてとても楽しかったです。また、もう一人の会長とも話しました。彼女は真のパイオニア（開拓者）であり、私は心から感謝と尊敬の気持ちを伝えました。

彼女の人生経験の話はとても刺激的でした。特に、彼女が16歳のときに一人で日本に来た話には驚きました。彼女は「人生は経験の積み重ね。時間を無駄にしないで、やりたいことをやりなさい」と言われました。この言葉を聞いて、とても勇気が出ました。

Wang の感想

午後のイベントの前に、私たちはカフェで浜口先生のご友人たちと会いました。その中でも、盲目の夫婦が特に印象的でした。彼らの生き方にとっても感動し、また話す機会があればいいなと思いました。

また、イタリア人の男性とも話しました。彼はとてもユーモアがあり、会話がとても楽しかったです。私たちは「イタリア人はパイナップルピザを受け入れられるのか？」という話題で盛り上がりました。彼はまた、日本で Hello Kitty の展示会に行ったことがあり、中国にも何度も旅行したそうです。本当に面白い人でした。

夜はタイ大使館での交流イベントに参加しました。ここでは、以前知り合った Metta さんとも再会しました。また、新しく出会った Chikako さんという日本人女性も印象に残りました。彼女はとても明るく、性格も素敵でした。彼女はこれまでいろいろな仕事を経験してきたようですが、今はヒーリングの仕事をしていて、自分のクリニックを持っているそうです。実は、これは私が将来興味を持っている分野でもあります。私たちは量子催眠についても話し、とても興味深かったです。彼女は、まるでアニメのキャラクターのような人で、とても若々しく、人生を楽しんでいる姿が印象的でした。

最後に言いたいのは、タイ大使館の料理が本当に美味しかったことです。種類が多すぎて、全部食べきれませんでした。



3/20 木曜日

1. ASEAN 市場への進出：英国企業のお機曾、課題、戦略 - Trowers & Hamlins

今朝、出発する前に IOD（英国経営者協会）が開催したイベントに参加しました。たくさんの素晴らしい人々に出会ひ、国際貿易に関する講演も聞くことができ、とても勉強になりました。



Dong の感想

このイベントで、スピーカーの Wennie さんの発表がとても印象的でした。彼女は自信を持って話し、とても堂々としていました。私は彼女の姿に憧れ、将来、彼女のようにになりたいと思いました。講演の後、私たちは彼女と直接話をしました。彼女は新しいことに挑戦するのが好きで、どんな環境にも前向きに適応していました。その姿を見て、私ももっと挑戦したいと強く思いました。

しかし、Wennie さんと話すとき、私は名刺をすぐに出せず、準備不足でした。浜口先生に「インターンシップ実習の最後の日だからといって油断してはいけない」と注意されました。たしかに、最後まで気を抜かず、しっかり準備するべきだったと思います。

このインターンシップ実習を通して、私はたくさんのことを学びました。視野が広がっただけでなく、自分の考え方も変わりました。今まで挑戦したことのないことに挑戦し、より積極的になれました。

最後の日に、浜口先生が私たちにグリーティングカードをくださいました。とても感動しました。また、Yuka 先輩も忙しいのにわざわざホテルに会いに来て、駅まで荷物を持ってくれました。本当に優しい方で、心が温かくなりました。そして、このインターンシップで出会ったすべての人に感謝したいです。先生の指導、Yuka 先輩の優しさ、レポートをチェックしてくれた Aki 先輩、そしていつも一緒に頑張ってくれた Wang。本当に素晴らしい人たちと出会えて幸せでした。この1ヶ月の経験は、一生忘れられない大切な思い出になりました。

Wang の感想

今朝、私たちは大きなミスをしました。名刺を持ってくるのを忘れてしまったのです。今日は帰国の日だったので、リラックスできる服を着てしまいました。昨夜、名刺をカバンに入れるのを忘れてしまいました。浜口先生は「どこへ行くときも名刺を持っていくべき」と言われましたし、Wennie さんも「成功の秘訣の一つは人脈作り」だと言われました。この経験を通して、次回からはもっと準備をしっかりしようと思いました。

イベントの後、私たちは浜口先生とお別れをしました。先生は私に本とグリーティングカードをプレゼントしてくださいました。本当に感動して、Dong と私は思わず泣いてしまいました。

午後、私たちはずっと食べたかったフィリピンのフライドチキン「Jollibee」を食べに行きました。正直、私は久しぶりにフライドチキンを食べましたが、とても美味しかったです。二人で楽しく話しながら食べて、幸せな時間

を過ごしました。その後、出発前に Yuka 先輩に会いたかったので、チキンを買っていきました。

Yuka 先輩には本当に感謝しています。私は彼女の性格が大好きで、こんな素敵なお人と出会えて本当に幸運だと思いました。最後に、Yuka 先輩は私たちに小さなプレゼントをくれて、駅まで見送ってくれました。

その後、私たちは3月20日にヒースロー空港から飛んで、無事に北京に到着しました。なんと3月21日には空港の近くで火事があり、通信トラブルでほとんどの便が欠航になったそうです。もし1日遅かったら帰れなかったかもしれません。本当にラッキーでした！

この1ヶ月、多くの素晴らしい人に出会い、たくさんを学びました。そして、Dong がいつもそばにいてくれて、とても心強かったです。このインターンシップ実習経験に心から感謝しています。

